

令和3年度

市民意識調査報告書



蕨市マスコットコットキャラクター「ワラビー」

蕨 市

目次

調査の概要

1 目的	1
2 調査内容	1
3 調査方法	1
4 回収結果	1

調査の結果

【まちへの愛着】

問1 「自分のまち」としての愛着	2
問2 愛着を感じている理由	4

【永住意識】

問3 永住意識	6
問4 住みたいと思う理由	8
問5 住みたいと思わない理由	12

【まちづくり】

<防災について>

問6 防災への備え	16
問7 災害発生時の情報取得の方法	18
問8 防災行政無線の放送内容の取得方法	20

<子育てについて>

問9 子育てのしやすさ	21
問10 子育てしやすいと思う理由	23
問11 子育てしやすいまちづくりのために大切なこと	25

<高齢期に大切なことについて>

問12 高齢期に大切なこと	27
問13 高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境	29

<まちのにぎわいについて>

問14 商店街・大型店の利用頻度	31
問15 商店街への要望	33
問16 市内に充実を望む店舗	35

<健康づくり、運動・スポーツについて>

問17 健康に対する意識	36
問18 運動・スポーツの頻度	38
問19 運動・スポーツの種類	40

<市民活動について>

問20 地域等での活動（現在の状況、今後の意向）	42
問21 地域等での活動の参加促進に必要なこと	44

<市民参加について>

問22 市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向	46
--------------------------	----

<協働のまちづくりについて>

問23 協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み	48
----------------------------	----

<新型コロナウイルス感染症について>

問24 感染予防のために気を付けていること	50
-----------------------	----

【重点施策】

問25 重点施策（重要度・満足度）	51
-------------------	----

【属性】

ア 地区	58
イ 性別	58
ウ 年齢層	58
エ 職業	59
オ 通勤・通学地	59
カ 住宅形態	59
キ 居住年数	60
ク 家族構成	60

調査の概要

1 目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい みんなにათათかい 日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査内容

- 1) まちへの愛着
- 2) 永住意識
- 3) まちづくり
 - (ア) 防災について
 - (イ) 子育てについて
 - (ウ) 高齢期に大切なことについて
 - (エ) まちのにぎわいについて
 - (オ) 健康づくり、運動・スポーツについて
 - (カ) 市民活動について
 - (キ) 市民参加について
 - (ク) 協働のまちづくりについて
 - (ケ) 新型コロナウイルス感染症について
- 4) 重点施策

3 調査方法

- 1) 調査期間 令和3年8月31日から9月21日まで
- 2) 調査対象 市内在住の18歳以上の男女
- 3) 対象者数 1,000人
- 4) 抽出方法 住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
- 5) 調査方法 行政連絡員による送付、郵便による回答

4 回収結果

対象者1,000人に対し、453人から回答があり、回収率は45.3%。

※備考

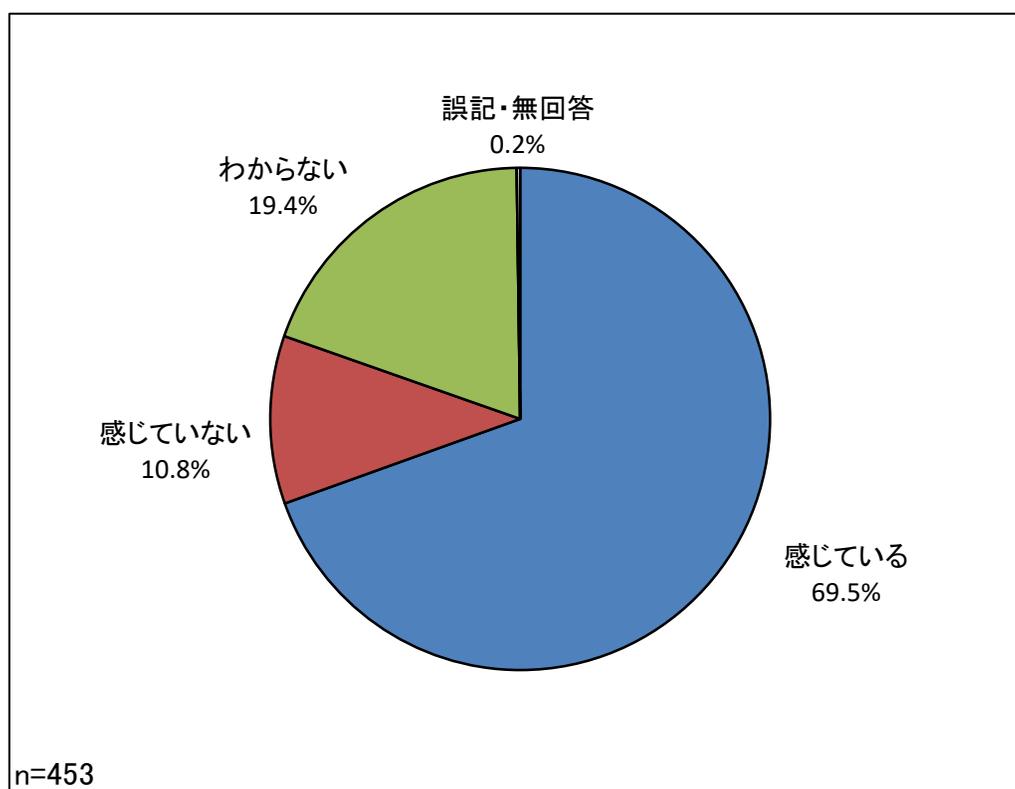
小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答割合の合計が100%にならないことがあります。

調査の結果

【まちへの愛着】

問1 あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
感じている	315	69.5%	1
感じていない	49	10.8%	3
わからない	88	19.4%	2
誤記・無回答	1	0.2%	

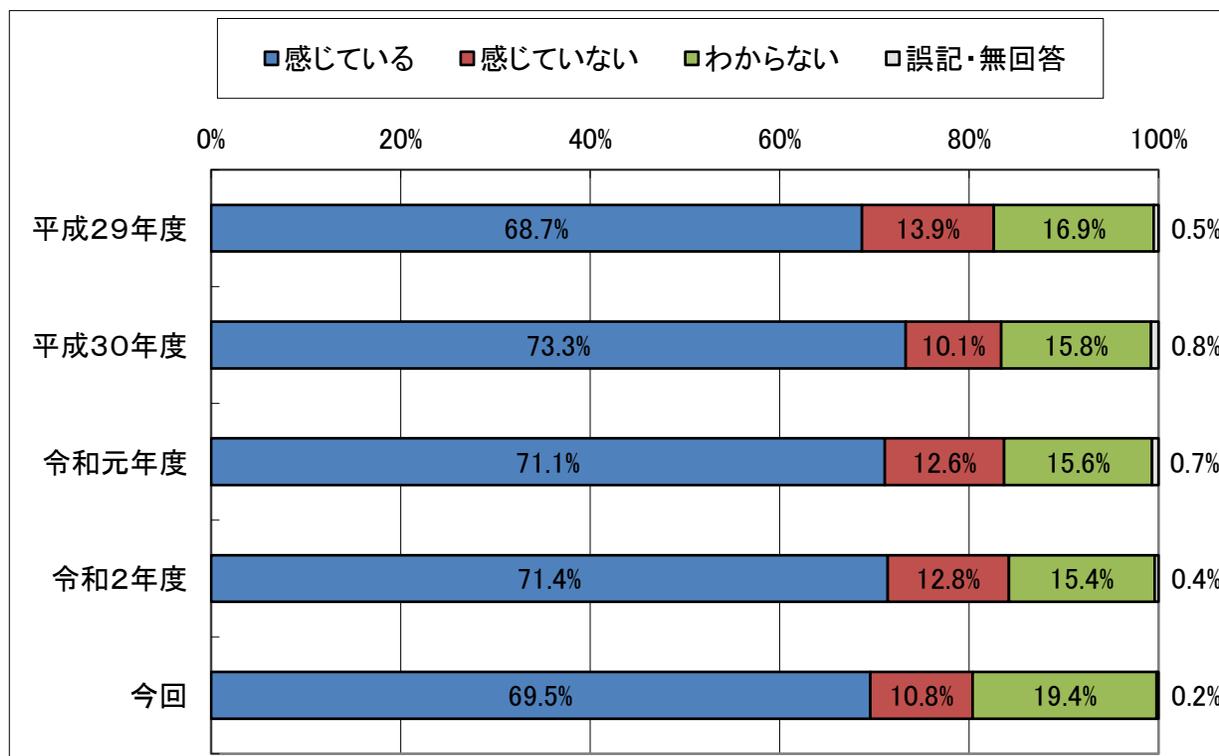


蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は69.5%となっています。一方、「感じていない」は10.8%、「わからない」は19.4%となっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、まちへの愛着を「感じている」人の割合は、おおむね70%前後で横ばい傾向となっています。

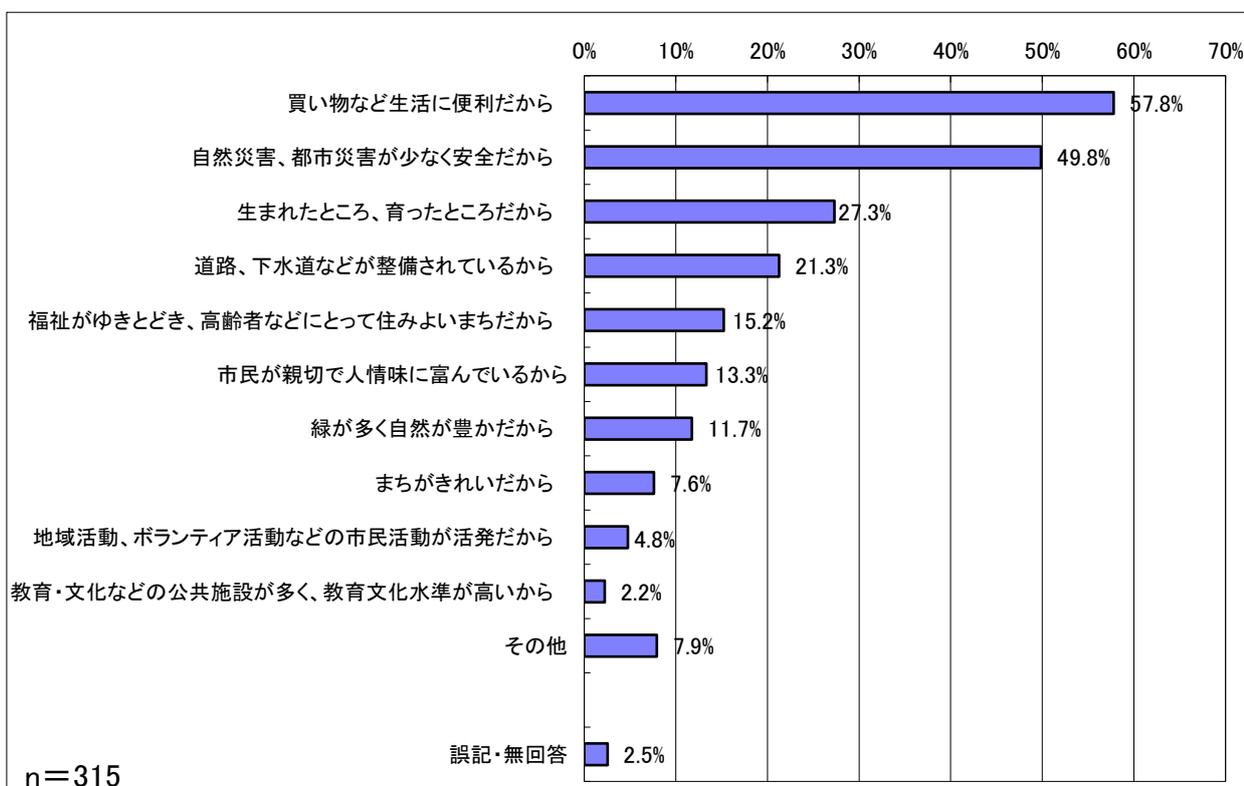
●まちへの愛着(平成29年度からの推移)



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2 愛着を感じている理由はなんですか。(○印は3つ以内)

回答対象者:315人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	182	57.8%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	157	49.8%	2
生まれたところ、育ったところだから	86	27.3%	3
道路、下水道などが整備されているから	67	21.3%	4
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	48	15.2%	5
市民が親切で人情味に富んでいるから	42	13.3%	6
緑が多く自然が豊かだから	37	11.7%	7
まちがきれいだから	24	7.6%	8
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	15	4.8%	9
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	7	2.2%	10
その他	25	7.9%	—
誤記・無回答	8	2.5%	



蔵市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が57.8%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が49.8%、「生まれたところ、育ったところだから」が27.3%、「道路、下水道などが整備されているから」が21.3%と続いています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

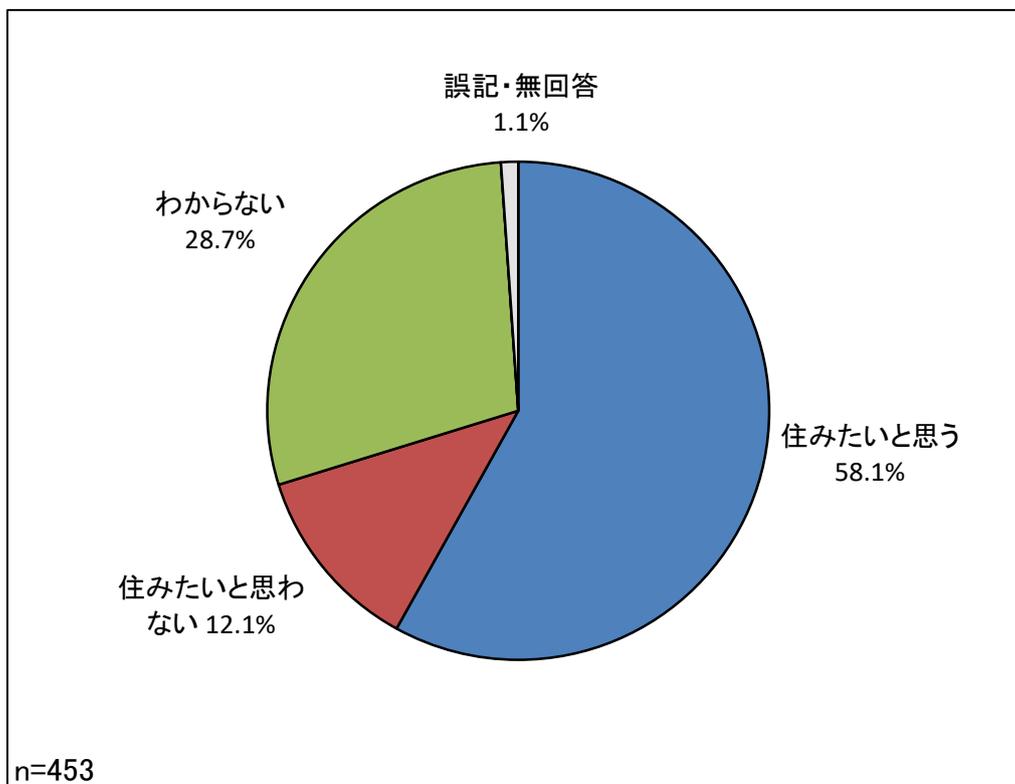
●愛着を感じている理由 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	買い物など生活に 便利だから 60.8%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 41.9%	生まれたところ、育っ たところだから 34.5%	道路、下水道などが 整備されているから 20.3%	福祉がゆきとどき、 高齢者などにとって 住みよいまちだから 13.2%
平成30年度	買い物など生活に 便利だから 56.8%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 40.3%	生まれたところ、育っ たところだから 36.5%	道路、下水道などが 整備されているから 20.0%	市民が親切で人情 味に富んでいるから 12.7%
令和元年度	買い物など生活に 便利だから 62.3%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 43.9%	生まれたところ、育っ たところだから 35.1%	道路、下水道などが 整備されているから 15.1%	市民が親切で人情 味に富んでいるから 12.8%
令和2年度	買い物など生活に 便利だから 56.5%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 41.0%	生まれたところ、育っ たところだから 33.7%	道路、下水道などが 整備されているから 21.6%	市民が親切で人情 味に富んでいるから 14.3%
今回	買い物など生活に 便利だから 57.8%	自然災害、都市災 害が少なく安全だか ら 49.8%	生まれたところ、育っ たところだから 27.3%	道路、下水道などが 整備されているから 21.3%	福祉がゆきとどき、 高齢者などにとって 住みよいまちだから 15.2%

【永住意識】

問3 あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
住みたいと思う	263	58.1%	1
住みたいと思わない	55	12.1%	3
わからない	130	28.7%	2
誤記・無回答	5	1.1%	-

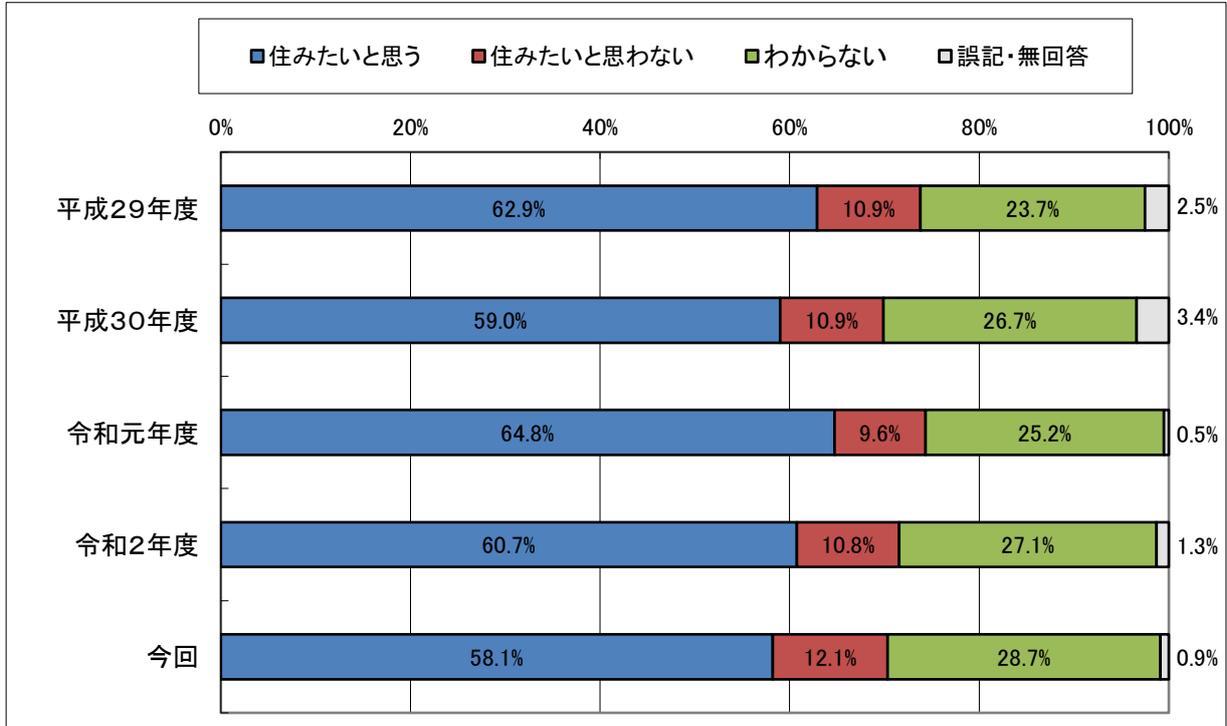


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は58.1%、住みたいと思わない人は12.1%となっています。
一方、28.7%の人が「わからない」と答えています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、これからもずっと蕨市に「住みたいと思う」の割合は、おおむね60%前後で横ばい傾向にあります。また、「住みたいと思わない」の割合は10%前後で推移しています。

●永住意識(平成29年度からの推移)

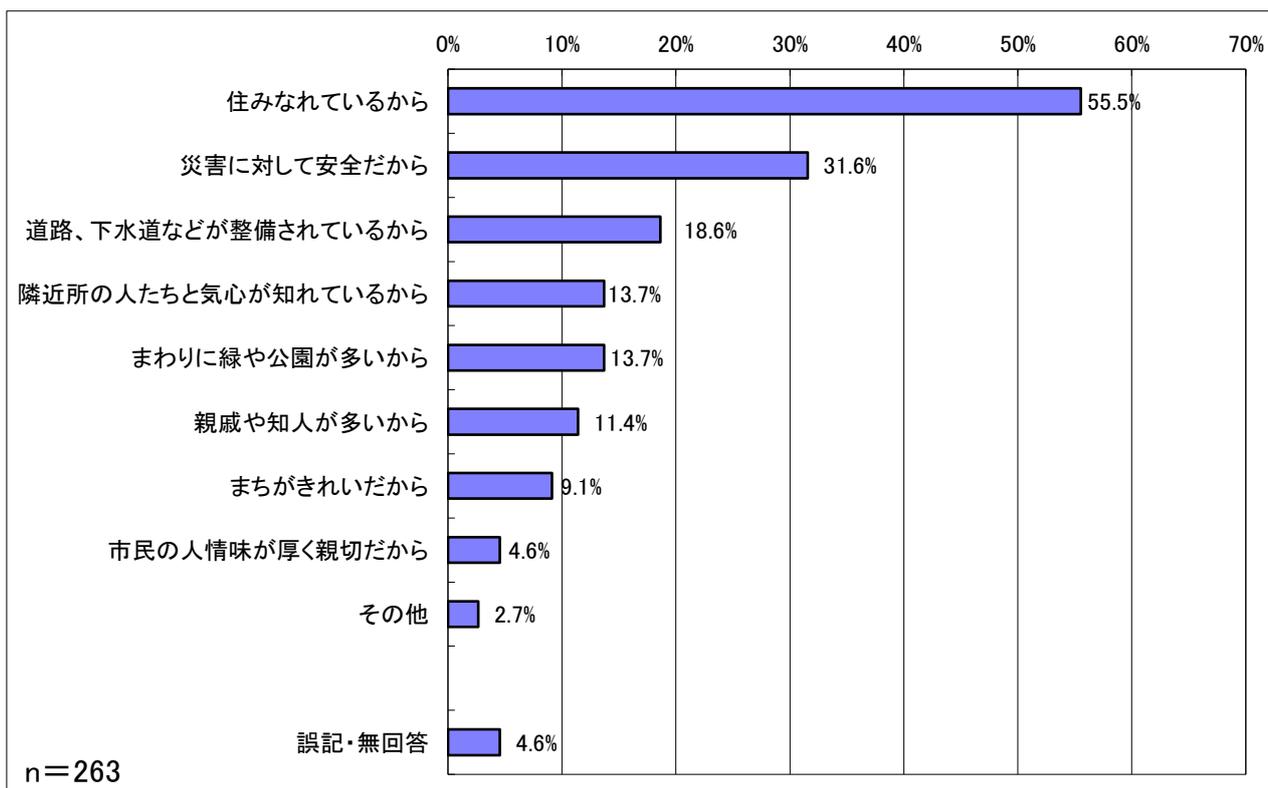


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。(○印はそれぞれ2つ以内)

●環境上の理由

回答対象者: 263人	件数	割合	順位
住みなれているから	146	55.5%	1
災害に対して安全だから	83	31.6%	2
道路、下水道などが整備されているから	49	18.6%	3
隣近所の人たちと気心が知れているから	36	13.7%	4
まわりに緑や公園が多いから	36	13.7%	4
親戚や知人が多いから	30	11.4%	6
まちがきれいだから	24	9.1%	7
市民の人情味が厚く親切だから	12	4.6%	8
その他	7	2.7%	—
誤記・無回答	12	4.6%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が55.5%で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が31.6%、「道路、下水道などが整備されているから」が18.6%、「隣近所の人たちと気心が知れているから」、及び、「まわりに緑や公園が多いから」が13.7%と続いています。

<経年変化>

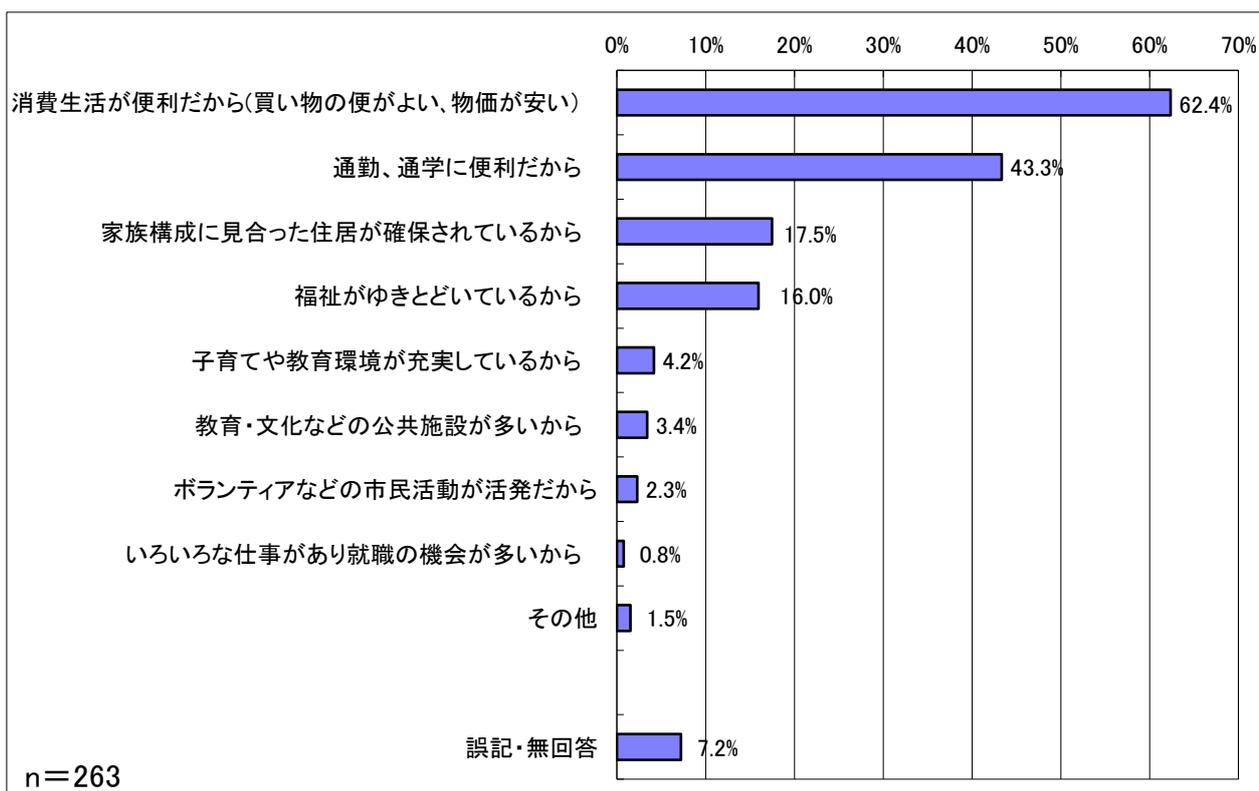
平成29年度からの推移を見ると、住みたいと思う環境上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「住みなれているから」が減少した一方、「災害に対して安全だから」が増加しています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	住みなれているから 66.1%	災害に対して安全だから 21.0%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.5%	道路、下水道などが整備されているから 17.3%	まわりに緑や公園が多いから 14.0%
平成30年度	住みなれているから 59.1%	道路、下水道などが整備されているから 19.8%	隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	親戚や知人が多いから 14.1%	
令和元年度	住みなれているから 64.7%	災害に対して安全だから 22.7%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.3%	まわりに緑や公園が多いから 15.5%	親戚や知人が多いから 15.1%
令和2年度	住みなれているから 64.6%	災害に対して安全だから 24.6%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.2%	道路、下水道などが整備されているから 17.5%	まわりに緑や公園が多いから 13.6%
今回	住みなれているから 55.5%	災害に対して安全だから 31.6%	道路、下水道などが整備されているから 18.6%	隣近所の人たちと気心が知れているから 13.7%	まわりに緑や公園が多いから

●生活上の理由

回答対象者: 263人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	164	62.4%	1
通勤、通学に便利だから	114	43.3%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	46	17.5%	3
福祉がゆきとどいているから	42	16.0%	4
子育てや教育環境が充実しているから	11	4.2%	5
教育・文化などの公共施設が多いから	9	3.4%	6
ボランティアなどの市民活動が活発だから	6	2.3%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	2	0.8%	8
その他	4	1.5%	—
誤記・無回答	19	7.2%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上的理由としては、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が62.4%と最も多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が43.3%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が17.5%で上位となっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、今後も住みたいと思う生活上の理由について、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、昨年度より「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が10ポイント以上増加しています。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位(平成29年度からの推移)

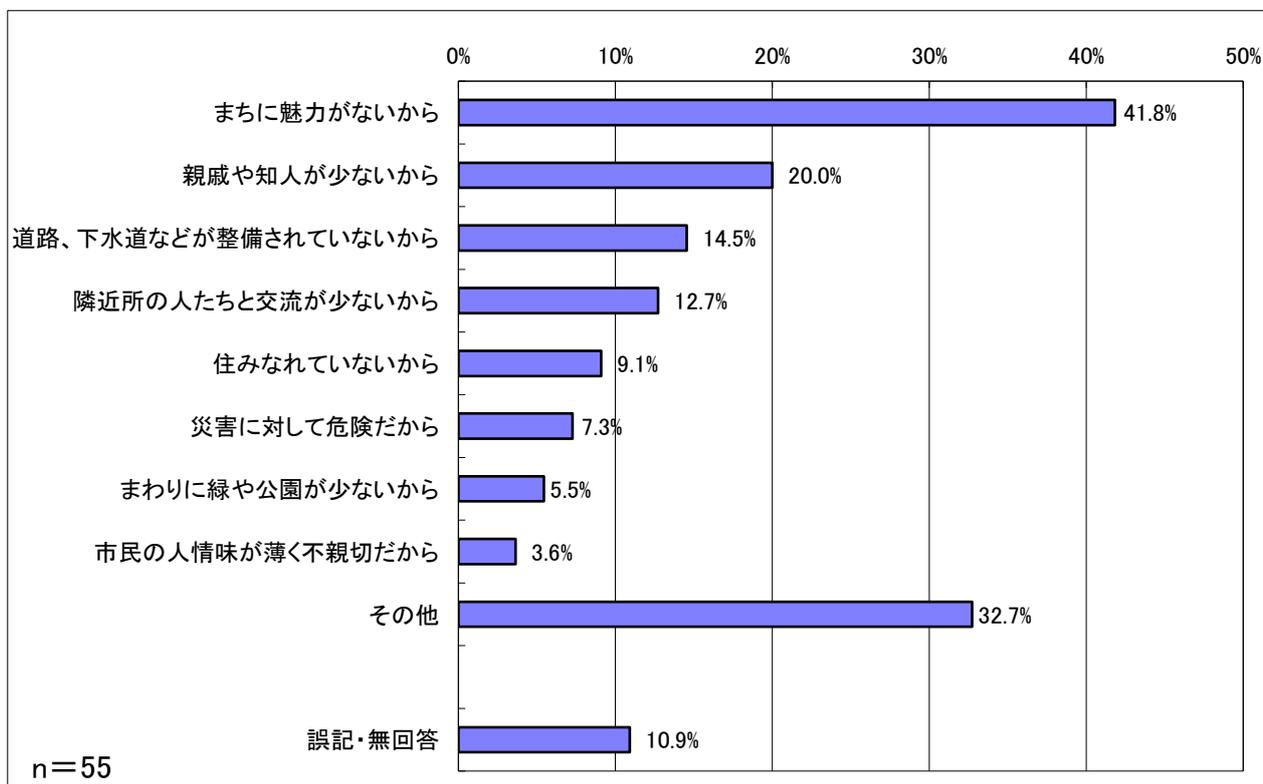
	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 54.6%	通勤、通学に便利だから 41.7%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.2%	福祉がゆきとどいているから 12.2%	子育てや教育環境が充実しているから教育・文化などの公共施設が多いから 5.2%
平成30年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.0%	通勤、通学に便利だから 44.3%	家族構成に見合った住居が確保されているから 23.5%	福祉がゆきとどいているから 8.7%	子育てや教育環境が充実しているから 6.4%
令和元年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 57.6%	通勤、通学に便利だから 47.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.5%	福祉がゆきとどいているから 8.6%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.8%
令和2年度	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 51.8%	通勤、通学に便利だから 42.9%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいているから 13.6%	子育てや教育環境が充実しているから 6.8%
今回	消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い) 62.4%	通勤、通学に便利だから 43.3%	家族構成に見合った住居が確保されているから 17.5%	福祉がゆきとどいているから 16.0%	子育てや教育環境が充実しているから 4.2%

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由は何ですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。(○印はそれぞれ2つ以内)

●環境上の理由

回答対象者:55人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	23	41.8%	1
親戚や知人が少ないから	11	20.0%	2
道路、下水道などが整備されていないから	8	14.5%	3
隣近所の人たちと交流が少ないから	7	12.7%	4
住みなれていないから	5	9.1%	5
災害に対して危険だから	4	7.3%	6
まわりに緑や公園が少ないから	3	5.5%	7
市民の人情味が薄く不親切だから	2	3.6%	8
その他	18	32.7%	—
誤記・無回答	6	10.9%	



蔵市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が41.8%と最も多く、次いで「親戚や知人が少ないから」が20.0%、「道路、下水道などが整備されていないから」が14.5%、「隣近所の人たちと交流が少ないから」が12.7%と続いています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、1位は「まちに魅力がないから」となっています。

※母数が少ないことを考慮する必要があります。

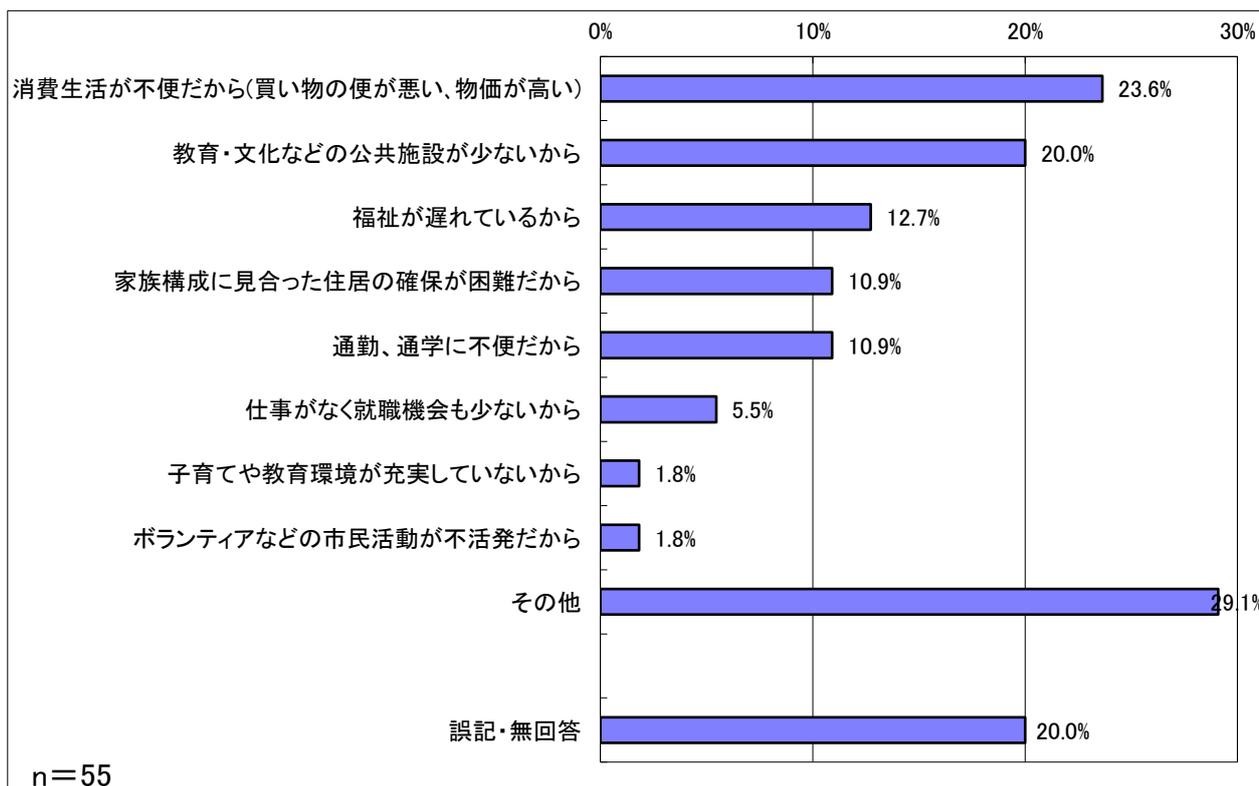
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	まちに魅力がないから 42.6%	親戚や知人が少ないから 29.8%	住みなれていないから 14.9%	災害に対して危険だから 隣近所の人たちと交流が少ないから 10.6%	
平成30年度	まちに魅力がないから 36.4%	まわりに緑や公園が少ないから 21.8%	住みなれていないから 親戚や知人が少ないから 18.2%		市民の人情味が薄く不親切だから 7.3%
令和元年度	まちに魅力がないから 53.7%	道路、下水道などが整備されていないから 親戚や知人が少ないから 隣近所の人たちと交流が少ないから 住みなれていないから 9.8%			
令和2年度	まちに魅力がないから 46.0%	道路、下水道などが整備されていないから 18.0%	親戚や知人が少ないから 16.0%	災害に対して危険だから 市民の人情味が薄く不親切だから 10.0%	
今回	まちに魅力がないから 41.8%	親戚や知人が少ないから 20.0%	道路、下水道などが整備されていないから 14.5%	隣近所の人たちと交流が少ないから 12.7%	住みなれていないから 9.1%

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:55人	件数	割合	順位
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	13	23.6%	1
教育・文化などの公共施設が少ないから	11	20.0%	2
福祉が遅れているから	7	12.7%	3
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	6	10.9%	4
通勤、通学に不便だから	6	10.9%	4
仕事がなく就職機会も少ないから	3	5.5%	6
子育てや教育環境が充実していないから	1	1.8%	7
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	1	1.8%	7
その他	16	29.1%	—
誤記・無回答	11	20.0%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)」(23.6%)が最多でした。次いで、「教育・文化などの公共施設が少ないから」が20.0%、「福祉が遅れているから」が12.7%、「家族構成に見合った住居の確保が困難だから」、及び、「通勤、通学に不便だから」が10.9%と続いています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、今年度は昨年度に続き、1位は「消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)」となっています。

※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.5%	福祉が遅れているから 消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 14.9%		通勤、通学に不便だから 12.8%	子育てや教育環境が充実していないから 10.6%
平成30年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 23.6%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 子育てや教育環境が充実していないから 18.2%		消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 14.5%	通勤、通学に不便だから 10.9%
令和元年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.4%	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 14.6%	子育てや教育環境が充実していないから 福祉が遅れているから 通勤、通学に不便だから 仕事がなく就職機会も少ないから 9.8%		
令和2年度	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 24.0%	通勤、通学に不便だから 16.0%	子育てや教育環境が充実していないから 福祉が遅れているから 14.0%	教育・文化などの公共施設が少ないから 10.0%	
今回	消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い) 23.6%	教育・文化などの公共施設が少ないから 20.0%	福祉が遅れているから 12.7%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 通勤、通学に不便だから 10.9%	

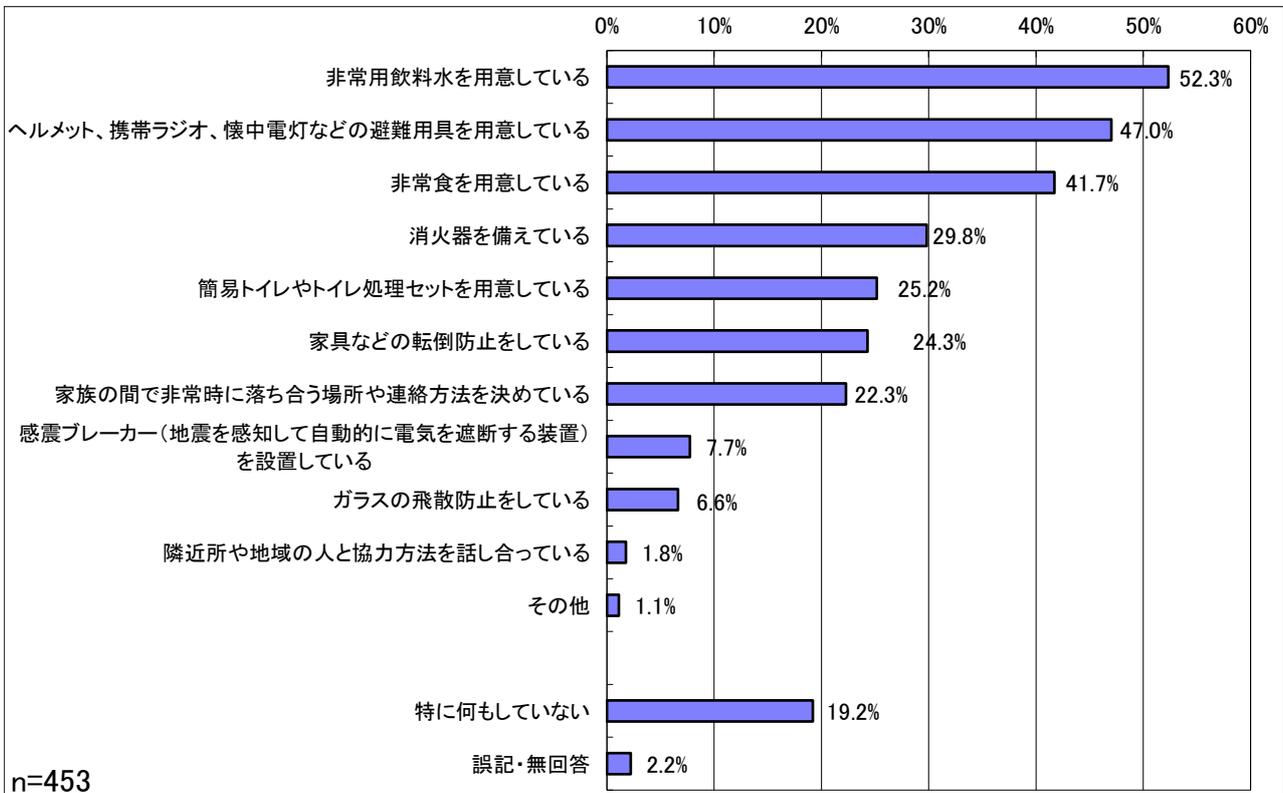
※「その他」は除く

【まちづくり】

<防災について>

問6 あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
(○印はいくつでも)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	237	52.3%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	213	47.0%	2
非常食を用意している	189	41.7%	3
消火器を備えている	135	29.8%	4
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	114	25.2%	5
家具などの転倒防止をしている	110	24.3%	6
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	101	22.3%	7
感震ブレーカー(地震を感知して自動的に電気を遮断する装置)を設置している	35	7.7%	8
ガラスの飛散防止をしている	30	6.6%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	8	1.8%	10
その他	5	1.1%	—
特に何もしていない	87	19.2%	
誤記・無回答	10	2.2%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が52.3%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が47.0%、「非常食を用意している」が41.7%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。

また、およそ8割の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

<経年変化>

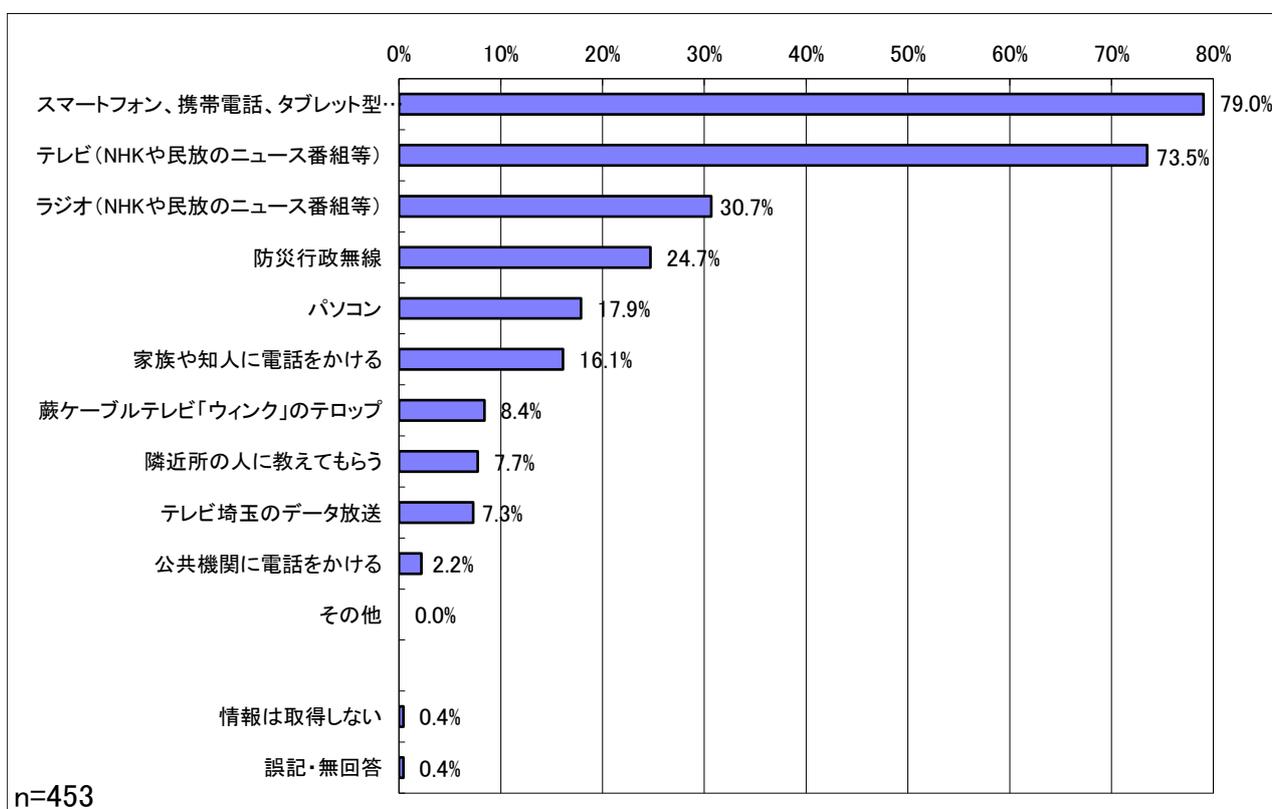
平成29年度からの推移を見ると、「非常用飲料水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった上位3位までの構成に変化はありません。

●災害に備えて準備していること 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	非常用飲料水を用意している 54.3%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.2%	非常食を用意している 36.4%	消火器を備えている 33.4%	家具などの転倒防止をしている 28.5%
平成30年度	非常用飲料水を用意している 51.9%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 45.5%	非常食を用意している 38.8%	消火器を備えている 34.9%	家具などの転倒防止をしている 32.5%
令和元年度	非常用飲料水を用意している 52.4%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 44.1%	非常食を用意している 40.1%	家具などの転倒防止をしている 35.7%	消火器を備えている 29.6%
令和2年度	非常用飲料水を用意している 58.8%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 47.7%	非常食を用意している 43.2%	家具などの転倒防止をしている 30.2%	消火器を備えている 28.2%
今回	非常用飲料水を用意している 52.3%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 47.0%	非常食を用意している 41.7%	消火器を備えている 29.8%	簡易トイレやトイレ処理セットを用意している 25.2%

問7 あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
(○印はいくつでも)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末	358	79.0%	1
テレビ(NHKや民放のニュース番組等)	333	73.5%	2
ラジオ(NHKや民放のニュース番組等)	139	30.7%	3
防災行政無線	112	24.7%	4
パソコン	81	17.9%	5
家族や知人に電話をかける	73	16.1%	6
蕨ケーブルテレビ「ウイंक」のテロップ	38	8.4%	7
隣近所の人に教えてもらう	35	7.7%	8
テレビ埼玉のデータ放送	33	7.3%	9
公共機関に電話をかける	10	2.2%	10
その他	0	0.0%	—
情報は取得しない	2	0.4%	
誤記・無回答	2	0.4%	



災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」が79.0%で最も多く、次いで「テレビ(NHKや民放のニュース番組等)」が73.5%となっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の構成に大きな変化はありませんが、近年「スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末」が80%前後となっており、情報取得媒体としての重要度が高まっている傾向が見られます。

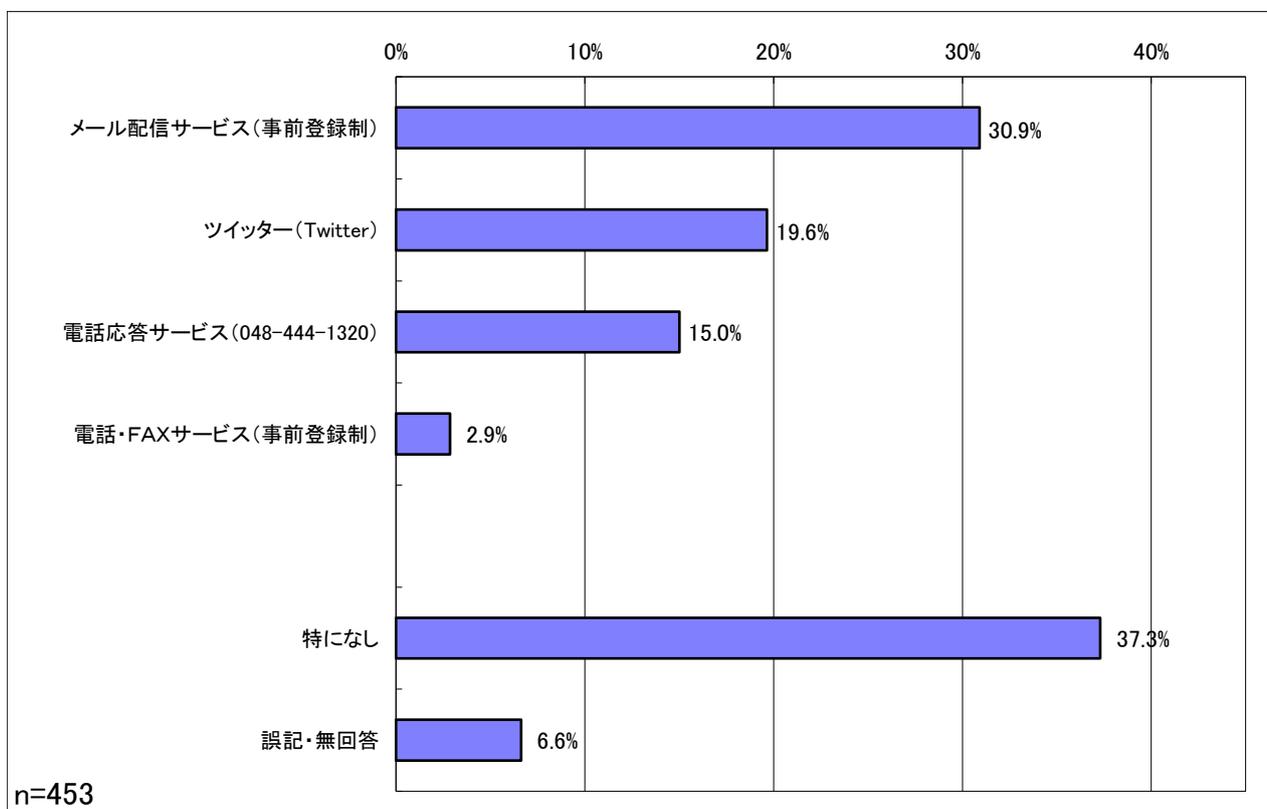
●災害発生時の情報取得方法 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	テレビ(NHKや民放のニュース番組等) 78.4%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 69.8%	ラジオ(NHKや民放のニュース番組等) 34.6%	防災行政無線 29.9%	家族や知人に電話をかける 22.5%
平成30年度	テレビ(NHKや民放のニュース番組等) 76.0%	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 73.1%	ラジオ(NHKや民放のニュース番組等) 38.6%	防災行政無線 27.5%	家族や知人に電話をかける 22.4%
令和元年度	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 79.7%	テレビ(NHKや民放のニュース番組等) 78.8%	ラジオ(NHKや民放のニュース番組等) 28.0%	防災行政無線 26.1%	家族や知人に電話をかける 21.9%
令和2年度	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 84.2%	テレビ(NHKや民放のニュース番組等) 80.3%	ラジオ(NHKや民放のニュース番組等) 26.0%	防災行政無線 23.9%	家族や知人に電話をかける 16.9%
今回	スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末 79.0%	テレビ(NHKや民放のニュース番組等) 73.5%	ラジオ(NHKや民放のニュース番組等) 30.7%	防災行政無線 24.7%	パソコン 17.9%

問8

令和3年4月から、防災行政無線のデジタル化に伴い、放送内容を以下の手段で配信するサービスが始まりました。あなたが防災行政無線の放送内容を知りたいときに利用したい(利用している)ものをお選びください。(〇印はいくつでも)

回答対象者: 453人		件数	割合	順位
メール配信サービス(事前登録制)	140	30.9%	1	
ツイッター(Twitter)	89	19.6%	2	
電話応答サービス(048-444-1320)	68	15.0%	3	
電話・FAXサービス(事前登録制)	13	2.9%	4	
特になし	169	37.3%		
誤記・無回答	30	6.6%		

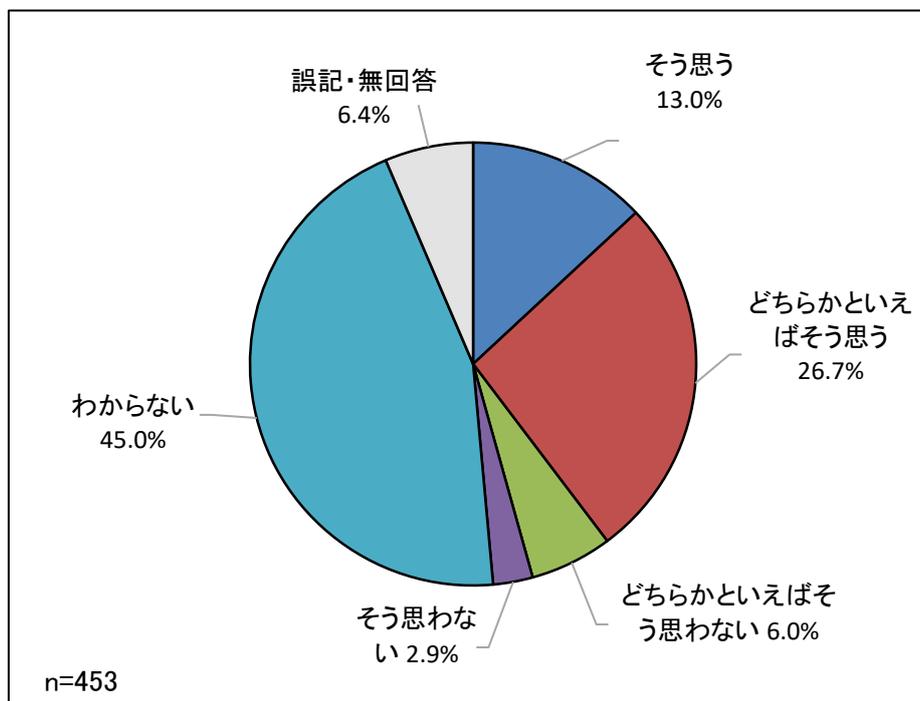


防災行政無線の放送内容について、どのような方法で確認するか(したいか)たずねたところ、「メール配信サービス(事前登録制)」が30.9%で最も多く、次いで「ツイッター(Twitter)」が19.6%となっています。

<子育てについて>

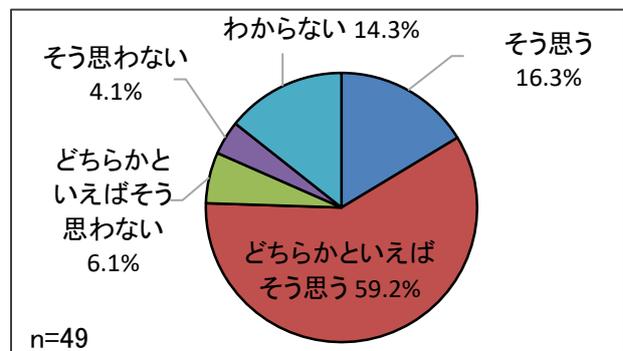
問9 蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
そう思う	59	13.0%	3
どちらかといえばそう思う	121	26.7%	2
どちらかといえばそう思わない	27	6.0%	4
そう思わない	13	2.9%	5
わからない	204	45.0%	1
誤記・無回答	29	6.4%	



【うち18歳未満の子どもがいる方の回答】

回答対象者: 49人	件数	割合	順位
そう思う	8	16.3%	2
どちらかといえばそう思う	29	59.2%	1
どちらかといえばそう思わない	3	6.1%	4
そう思わない	2	4.1%	5
わからない	7	14.3%	3
誤記・無回答	0	0.0%	



蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」13.0%、「どちらかといえばそう思う」26.7%を合わせると39.7%となっている一方、「わからない」との回答が45.0%と比率が高くなっています。

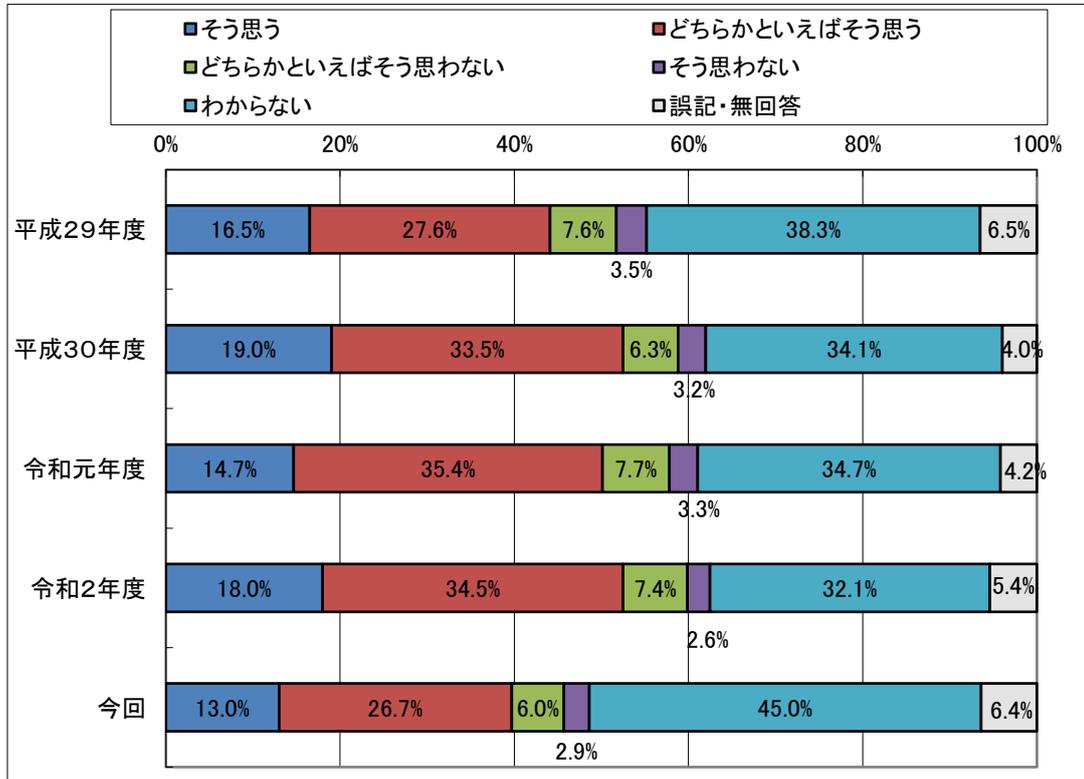
そこで、18歳未満の子どもがいる方の回答に注目したところ、「そう思う」16.3%、「どちらかといえばそう思う」59.2%を合わせると、現役で子育てをしている方の75%以上が子育てしやすいと感じていることがわかります。

<経年変化>

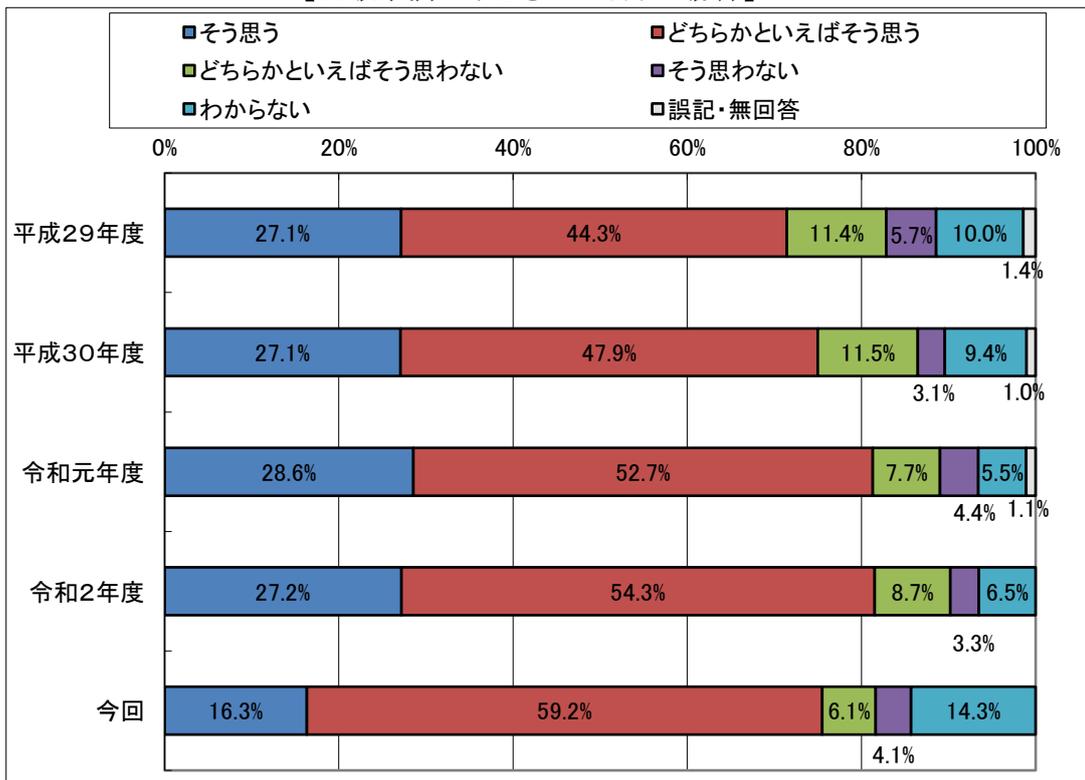
平成29年度からの推移を見ると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計は、近年50%程度で推移していましたが、今年度は昨年より10ポイント以上減少しています。これは、「わからない」の割合が高くなっていることが影響しているものと考えられます。

そこで、18歳未満の子どもがいる方の回答について、平成29年度からの推移を見ると、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計は、70%強から80%強までの間で推移しています。

●子育てについて(平成29年度からの推移)



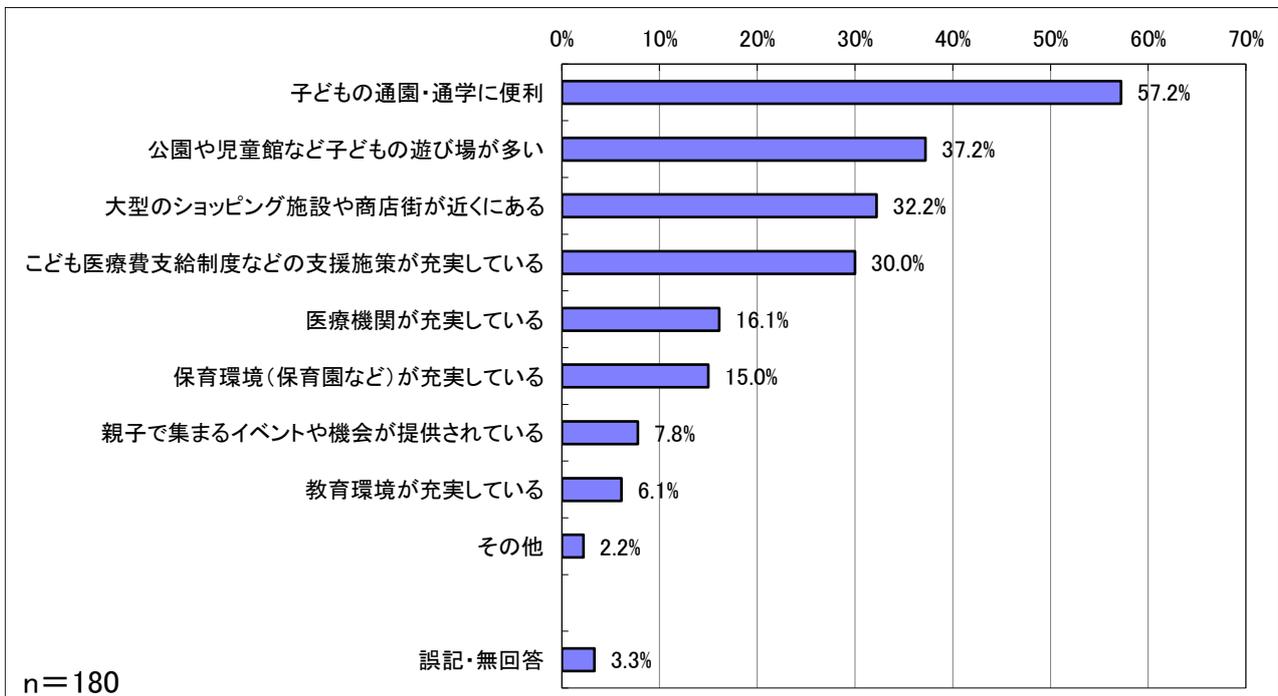
【18歳未満の子どもがいる方の場合】



問9で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と答えた人のみ回答

問10 子育てがしやすいと思う理由は何ですか。(○印は3つ以内)

回答対象者: 180人	件数	割合	順位
子どもの通園・通学に便利	103	57.2%	1
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	67	37.2%	2
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	58	32.2%	3
こども医療費支給制度などの支援施策が充実している	54	30.0%	4
医療機関が充実している	29	16.1%	5
保育環境(保育園など)が充実している	27	15.0%	6
親子で集まるイベントや機会が提供されている	14	7.8%	7
教育環境が充実している	11	6.1%	8
その他	4	2.2%	-
誤記・無回答	6	3.3%	



蕨市が子育てしやすいまちだと感じている人に、その理由をたずねたところ、1位は「子どもの通園・通学に便利」で57.2%、次いで、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が37.2%、「大型のショッピング施設や商店街が近くにある」が32.2%、「こども医療費支給制度などの支援施策が充実している」が30.0%と続いています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に多少の変動はありますが、1位は「子どもの通園・通学に便利」となっています。

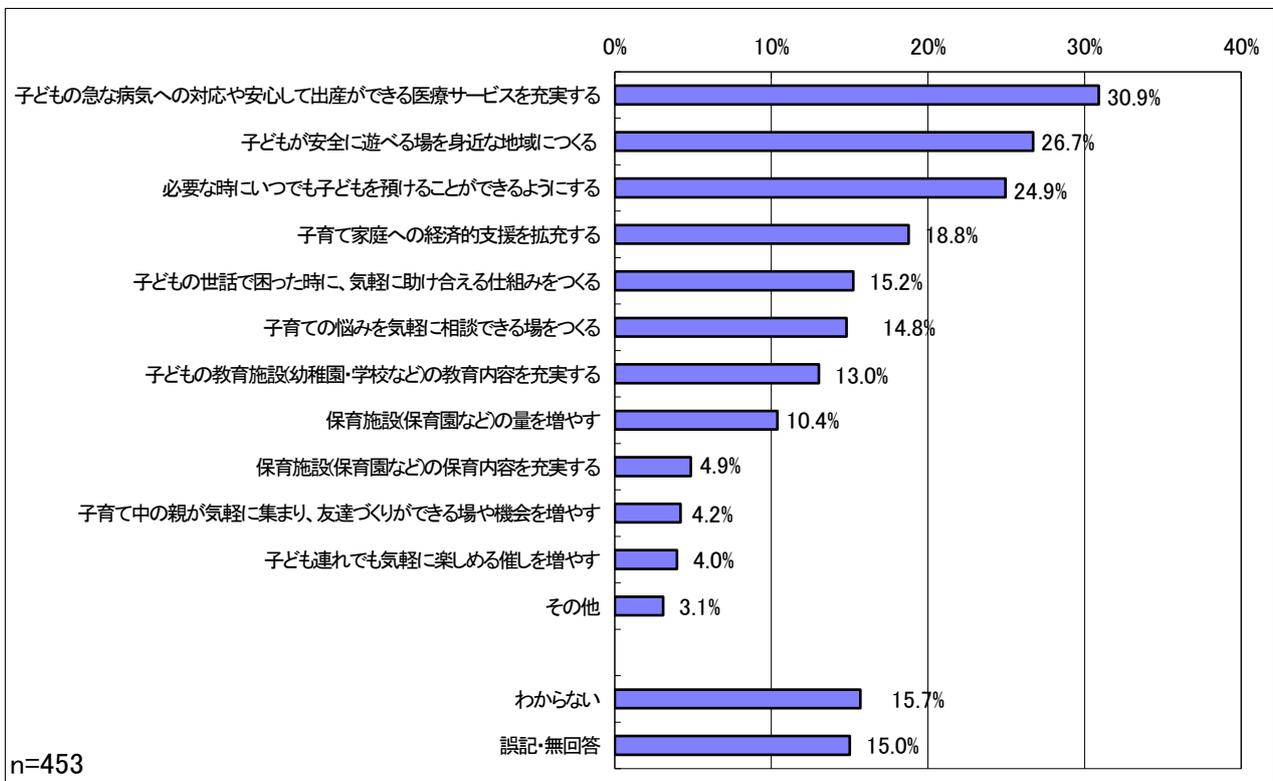
●子育てがしやすいと思う理由 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	子どもの通園・通学に便利 70.8%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 42.1%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 36.5%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 34.3%	親子で集まるイベントや機会が提供されている 16.3%
平成30年度	子どもの通園・通学に便利 65.3%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 40.0%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 35.5%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 29.1%	医療機関が充実している 17.0%
令和元年度	子どもの通園・通学に便利 67.0%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 40.9%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 36.7%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 26.5%	保育環境(保育園など)が充実している 17.7%
令和2年度	子どもの通園・通学に便利 71.9%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 40.9%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 39.3%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 21.1%	保育環境(保育園など)が充実している 17.8%
今回	子どもの通園・通学に便利 57.2%	公園や児童館など子どもの遊び場が多い 37.2%	大型のショッピング施設や商店街が近くにある 32.2%	こども医療費支給制度などの支援施策が充実している 30.0%	医療機関が充実している 16.1%

※平成30年度に選択肢を見直し

問11 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。(○印は3つ以内)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	140	30.9%	1
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	121	26.7%	2
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	113	24.9%	3
子育て家庭への経済的支援を拡充する	85	18.8%	4
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	69	15.2%	5
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	67	14.8%	6
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	59	13.0%	7
保育施設(保育園など)の量を増やす	47	10.4%	8
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	22	4.9%	9
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	19	4.2%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	18	4.0%	11
その他	14	3.1%	—
わからない	71	15.7%	
誤記・無回答	68	15.0%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が30.9%で最も多く、次いで「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が26.7%、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が24.9%と続いています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、順位の変動はあるものの、上位3位までの構成に大きな変化はありません。

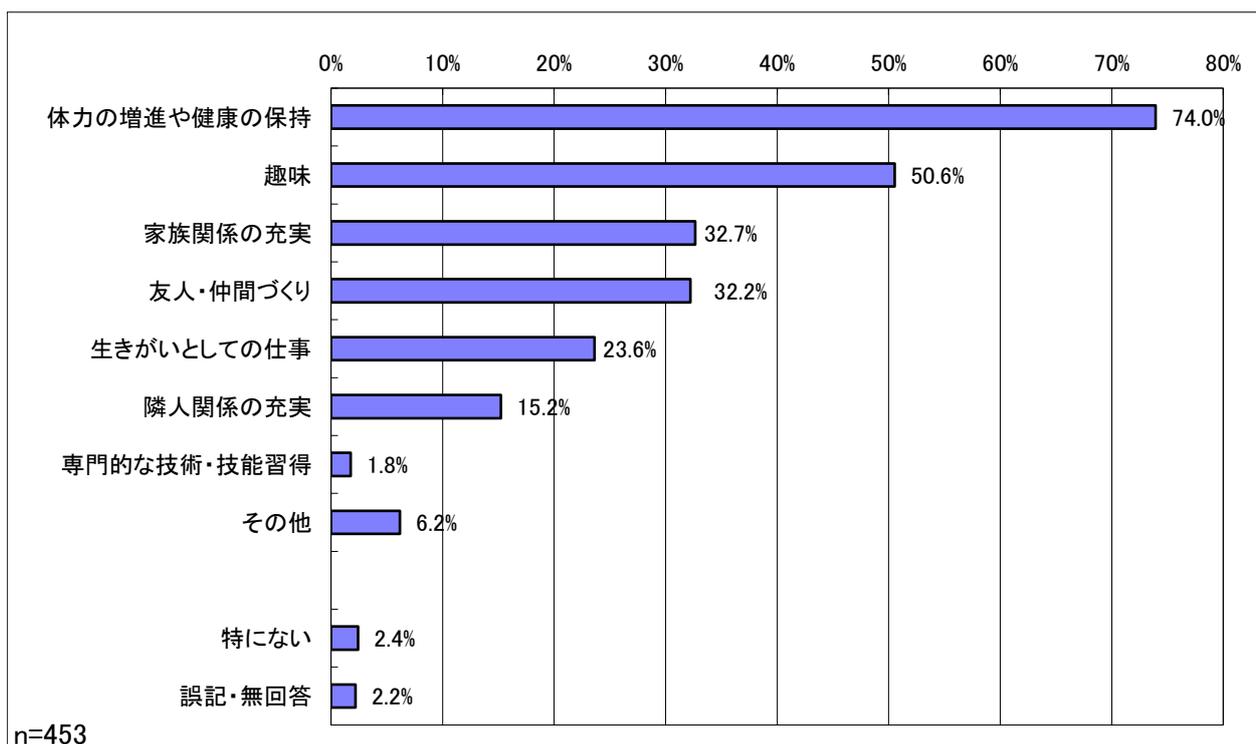
●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 29.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.0%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 20.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 19.7%
平成30年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 31.3%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.7%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 24.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.8%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.0%
令和元年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 28.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 25.2%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 23.8%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 21.2%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 18.9%
令和元年度	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 28.2%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.7%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する 20.6%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.7%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 30.9%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 26.7%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 24.9%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 18.8%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 15.2%

<高齢期に大切なことについて>

問12 あなたが高齢期を迎える(迎えた)ときに何が大切だと思いますか。
(○印は3つ以内)

回答対象者:453人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	335	74.0%	1
趣味	229	50.6%	2
家族関係の充実	148	32.7%	3
友人・仲間づくり	146	32.2%	4
生きがいとしての仕事	107	23.6%	5
隣人関係の充実	69	15.2%	6
専門的な技術・技能習得	8	1.8%	7
その他	28	6.2%	—
特にない	11	2.4%	
誤記・無回答	10	2.2%	



高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が74.0%で最も多く、次いで、「趣味」が50.6%、「家族関係の充実」が32.7%、「友人・仲間づくり」が32.2%となっています。

<経年変化>

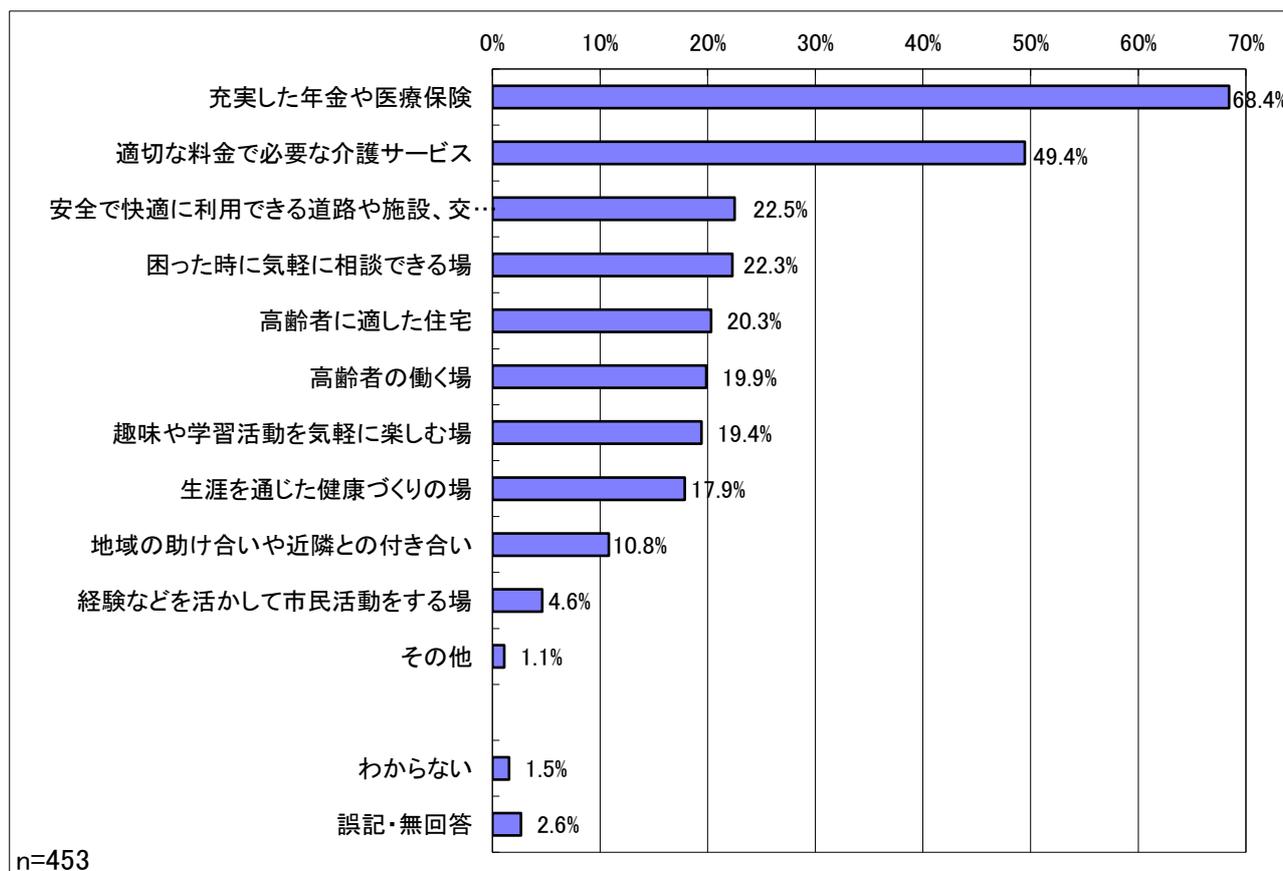
平成29年度からの推移を見ると、上位項目の構成に変化はなく、特に「体力の増進や健康の保持」や「趣味」が上位となっています。

●高齢期を迎える(迎えた)ときに大切だと思うこと 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	体力の増進や健康の保持 70.1%	趣味 49.7%	友人・仲間づくり 44.3%	家族関係の充実 37.6%	生きがいとしての仕事 23.7%
平成30年度	体力の増進や健康の保持 74.5%	趣味 49.5%	友人・仲間づくり 41.8%	家族関係の充実 32.7%	生きがいとしての仕事 24.6%
令和元年度	体力の増進や健康の保持 71.6%	趣味 52.2%	友人・仲間づくり 44.1%	家族関係の充実 33.1%	生きがいとしての仕事 25.4%
令和2年度	体力の増進や健康の保持 72.9%	趣味 53.6%	友人・仲間づくり 40.1%	家族関係の充実 38.6%	生きがいとしての仕事 25.2%
今回	体力の増進や健康の保持 74.0%	趣味 50.6%	家族関係の充実 32.7%	友人・仲間づくり 32.2%	生きがいとしての仕事 23.6%

問13 高齢期を生き生きと過ごせるまちなにするため、どのような環境が大切だと思いますか。
(○印は3つ以内)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	310	68.4%	1
適切な料金で必要な介護サービス	224	49.4%	2
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	102	22.5%	3
困った時に気軽に相談できる場	101	22.3%	4
高齢者に適した住宅	92	20.3%	5
高齢者の働く場	90	19.9%	6
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	88	19.4%	7
生涯を通じた健康づくりの場	81	17.9%	8
地域の助け合いや近隣との付き合い	49	10.8%	9
経験などを活かして市民活動をする場	21	4.6%	10
その他	5	1.1%	-
わからない	7	1.5%	
誤記・無回答	12	2.6%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちなにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が68.4%で最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の49.4%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、3位以下の項目は毎年入れ替わっていますが、上位の項目の構成に大きな変化はありません。

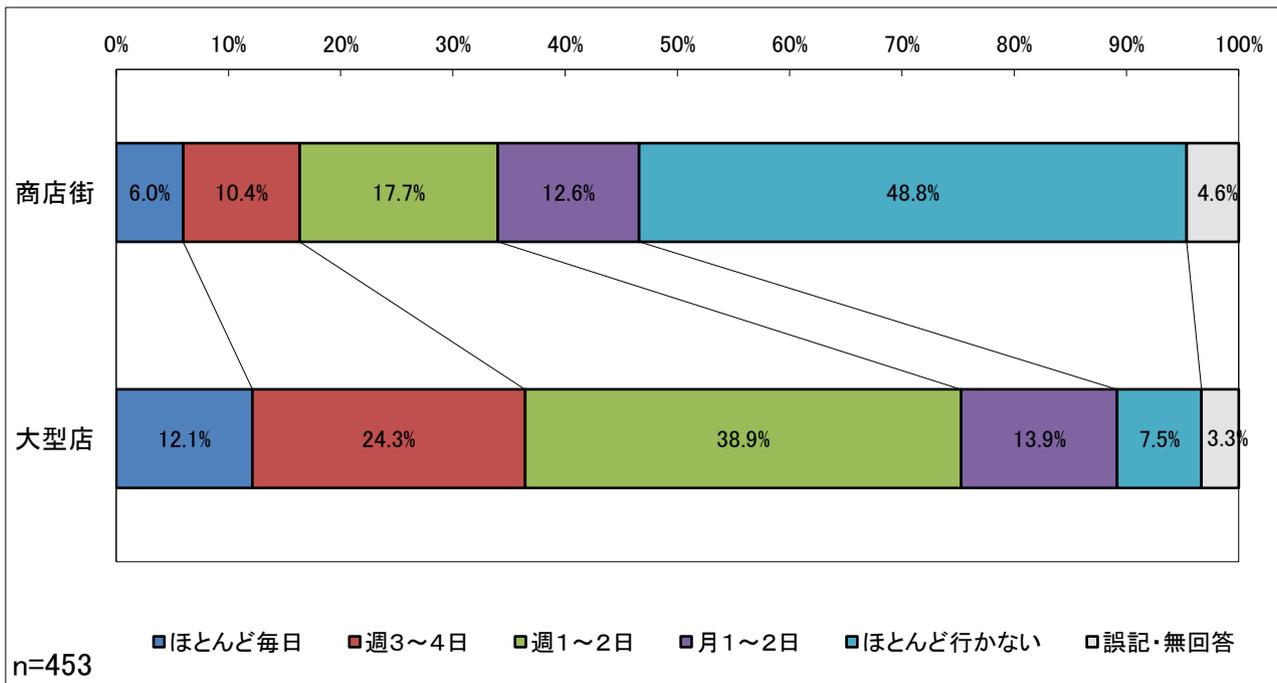
●高齢期を生き生きと過ごせるまににするために大切な環境 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	充実した年金や医療保険 65.9%	適切な料金で必要な介護サービス 53.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 24.1%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.0%	高齢者の働く場 21.1%
平成30年度	充実した年金や医療保険 64.2%	適切な料金で必要な介護サービス 49.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 24.8%	困った時に気軽に相談できる場 23.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.2%
令和元年度	充実した年金や医療保険 65.3%	適切な料金で必要な介護サービス 55.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.9%	高齢者の働く場 23.3%	困った時に気軽に相談できる場 20.3%
令和2年度	充実した年金や医療保険 69.2%	適切な料金で必要な介護サービス 52.1%	困った時に気軽に相談できる場 25.2%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 21.3%	高齢者の働く場 20.6%
今回	充実した年金や医療保険 68.4%	適切な料金で必要な介護サービス 49.4%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.5%	困った時に気軽に相談できる場 22.3%	高齢者に適した住宅 20.3%

<まちのにぎわいについて>

問14 買い物についてお伺います。あなたが商店街や大型店(スーパーマーケット、デパート)へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。(○印はそれぞれ1つ)

回答対象者: 453人	商店街			大型店		
	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	27	6.0%	5	55	12.1%	4
週3~4日	47	10.4%	4	110	24.3%	2
週1~2日	80	17.7%	2	176	38.9%	1
月1~2日	57	12.6%	3	63	13.9%	3
ほとんど行かない	221	48.8%	1	34	7.5%	5
誤記・無回答	21	4.6%		15	3.3%	



商店街や大型店(スーパーマーケット、デパート)へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3~4日」「週1~2日」の割合の合計は、商店街の34.1%に対し、大型店は75.3%で2倍以上になっています。

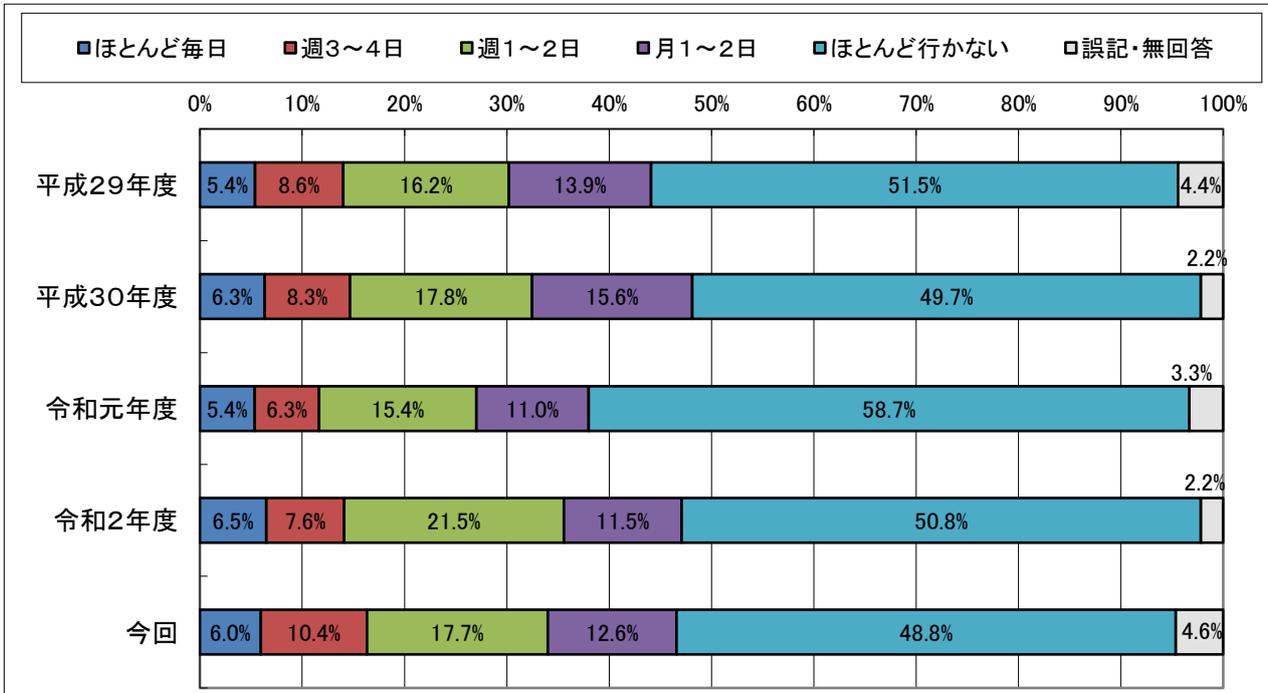
また、「ほとんど行かない」が商店街の48.8%に対し、大型店は7.5%となっています。

<経年変化>

【商店街】

平成29年度からの推移を見ると、商店街に買い物に行く頻度は、週1回以上の方がおおむね30%前後で推移しています。

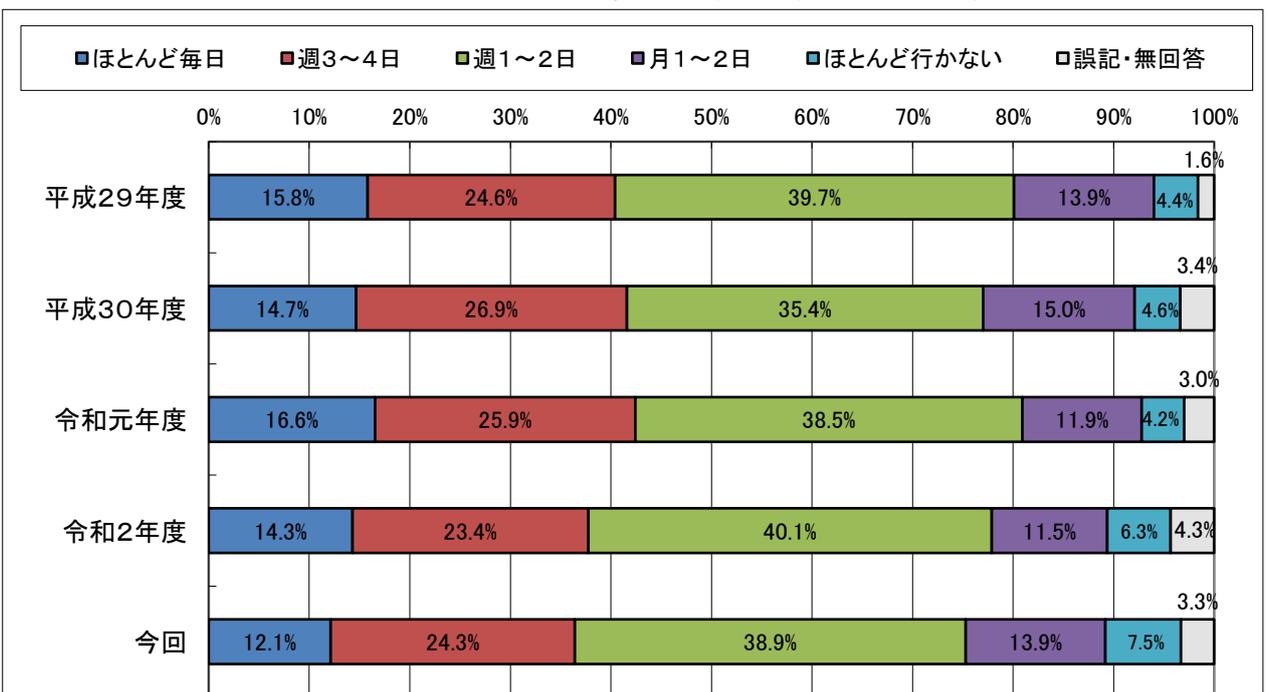
●商店街に買い物に行く頻度(平成29年度からの推移)



【大型店】

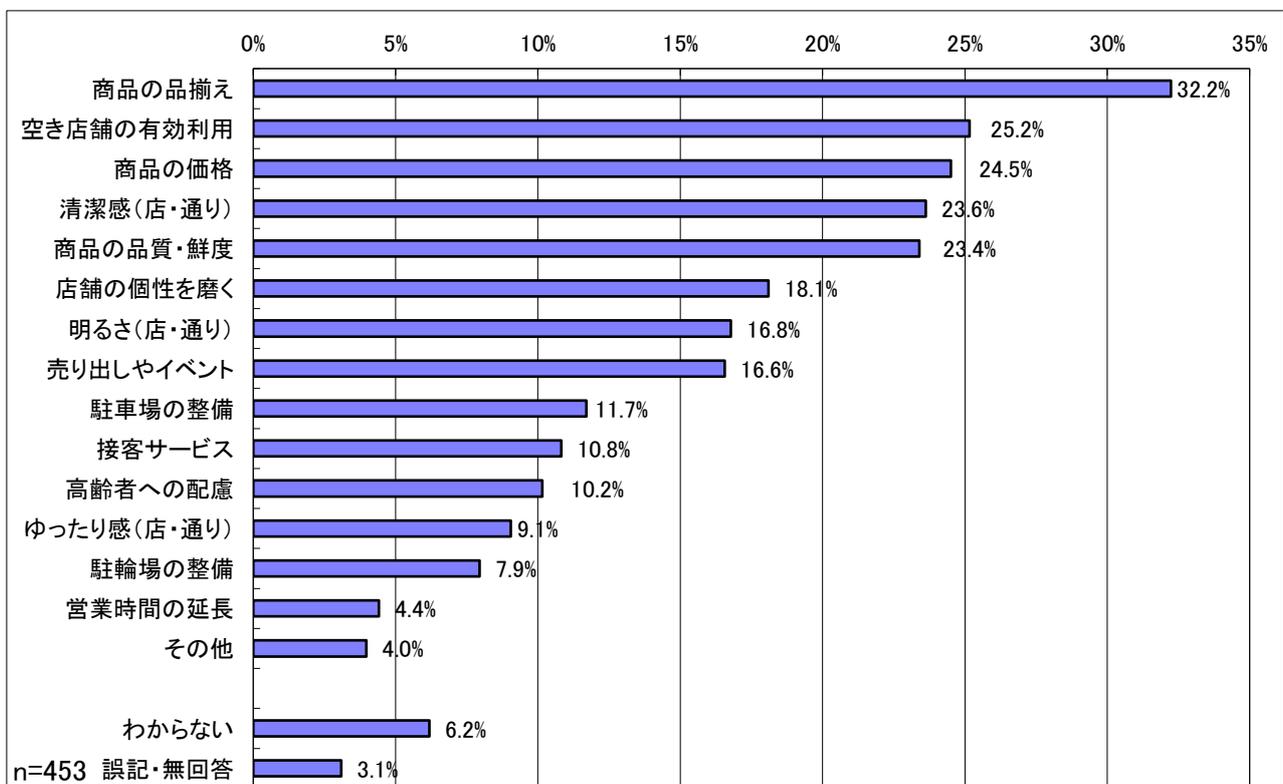
平成29年度からの推移を見ると、大型店に買い物に行く頻度が週1日以上の方が75%以上で推移しています。

●大型店に買い物に行く頻度(平成29年度からの推移)



問15 商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。(○印は3つ以内)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
商品の品揃え	146	32.2%	1
空き店舗の有効利用	114	25.2%	2
商品の価格	111	24.5%	3
清潔感(店・通り)	107	23.6%	4
商品の品質・鮮度	106	23.4%	5
店舗の個性を磨く	82	18.1%	6
明るさ(店・通り)	76	16.8%	7
売り出しやイベント	75	16.6%	8
駐車場の整備	53	11.7%	9
接客サービス	49	10.8%	10
高齢者への配慮	46	10.2%	11
ゆったり感(店・通り)	41	9.1%	12
駐輪場の整備	36	7.9%	13
営業時間の延長	20	4.4%	14
その他	18	4.0%	—
わからない	28	6.2%	
誤記・無回答	14	3.1%	



商店街に望むことについてたずねたところ、「商品の品揃え」が32.2%と最も多く、次いで「空き店舗の有効利用」が25.2%、「商品の価格」が24.5%となっています。

<経年変化>

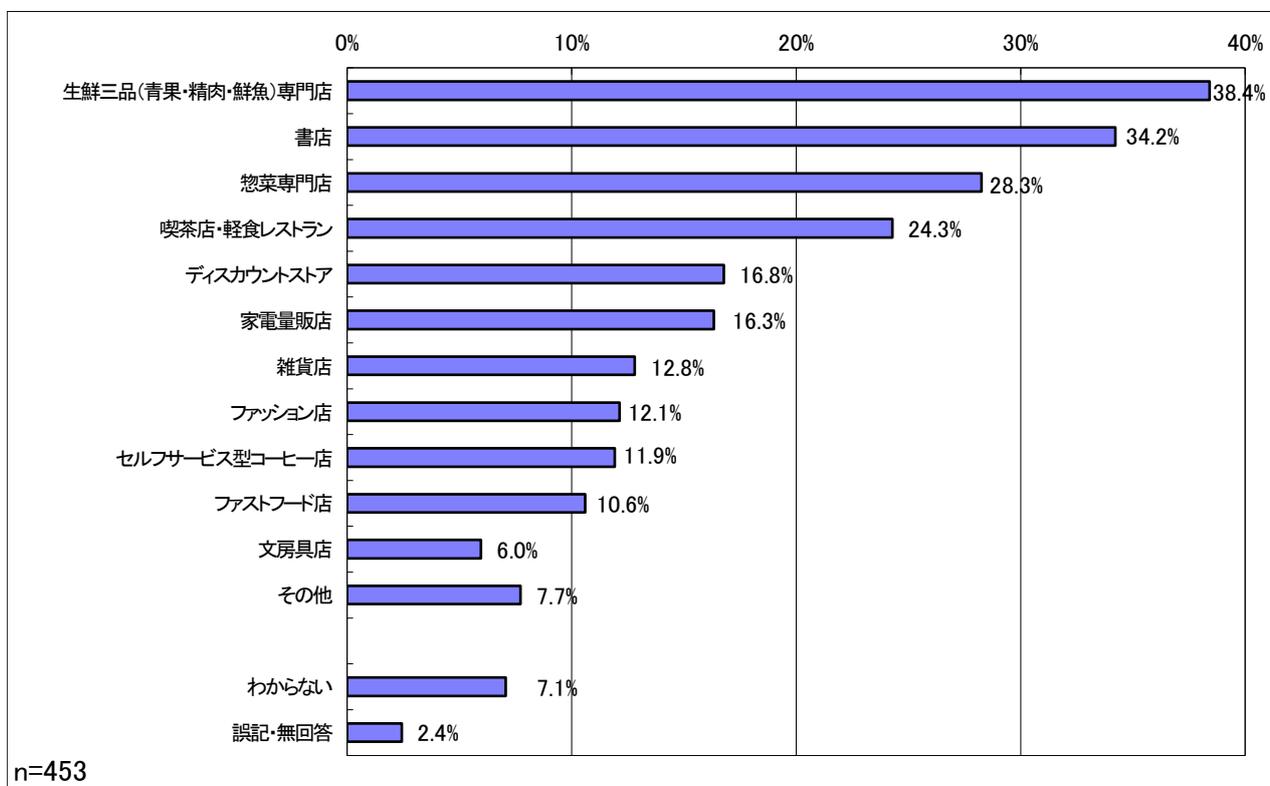
平成29年度からの推移を見ると、上位項目の構成に大きな変化は見られませんが、特に、「商品の品揃え」、「空き店舗の有効利用」が上位となっています。

●商店街に望むこと 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	空き店舗の有効利用 28.1%	商品の品揃え 26.7%	商品の品質・鮮度 25.5%	商品の価格 22.5%	店舗の個性を磨く 20.2%
平成30年度	空き店舗の有効利用 28.9%	商品の品揃え 26.7%	店舗の個性を磨く 商品の品質・鮮度 25.5%		商品の価格 23.6%
令和元年度	商品の品揃え 26.1%	空き店舗の有効利用 25.6%	商品の品質・鮮度 24.2%	商品の価格 21.7%	店舗の個性を磨く 21.2%
令和2年度	商品の品揃え 32.1%	空き店舗の有効利用 27.5%	商品の品質・鮮度 25.8%	清潔感(店・通り) 21.0%	店舗の個性を磨く 20.6%
今回	商品の品揃え 32.2%	空き店舗の有効利用 25.2%	商品の価格 24.5%	清潔感(店・通り) 23.6%	商品の品質・鮮度 23.4%

問16 まちのにぎわい創出に向けて、あなたが蕨市内に充実してほしいと思うお店について、あてはまるものをお選びください。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
生鮮三品(青果・精肉・鮮魚)専門店	174	38.4%	1
書店	155	34.2%	2
惣菜専門店	128	28.3%	3
喫茶店・軽食レストラン	110	24.3%	4
ディスカウントストア	76	16.8%	5
家電量販店	74	16.3%	6
雑貨店	58	12.8%	7
ファッション店	55	12.1%	8
セルフサービス型コーヒー店	54	11.9%	9
ファストフード店	48	10.6%	10
文房具店	27	6.0%	11
その他	35	7.7%	—
わからない	32	7.1%	
誤記・無回答	11	2.4%	

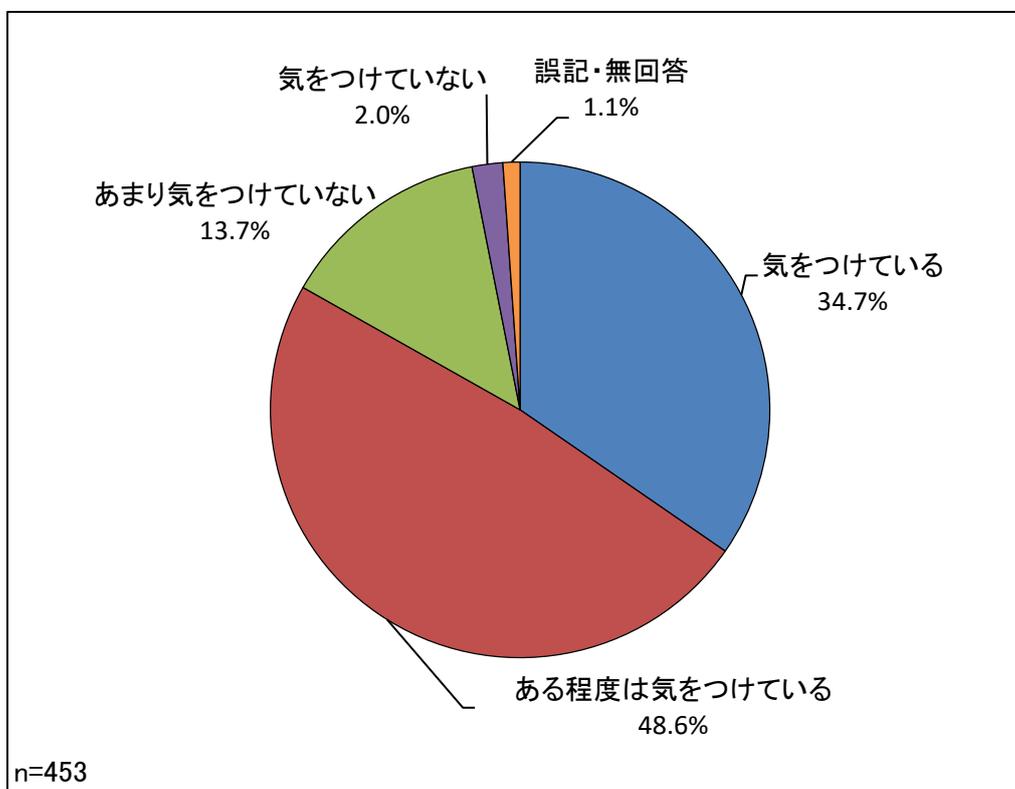


市内に充実してほしいと思うお店についてたずねたところ、「生鮮三品(青果・精肉・鮮魚)専門店」が38.4%で最も多く、次いで「書店」が34.2%、「惣菜専門店」が28.3%、「喫茶店・軽食レストラン」が24.3%と続いています。

<健康づくり、運動・スポーツについて>

問17 あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
気をつけている	157	34.7%	2
ある程度は気をつけている	220	48.6%	1
あまり気をつけていない	62	13.7%	3
気をつけていない	9	2.0%	4
誤記・無回答	5	1.1%	

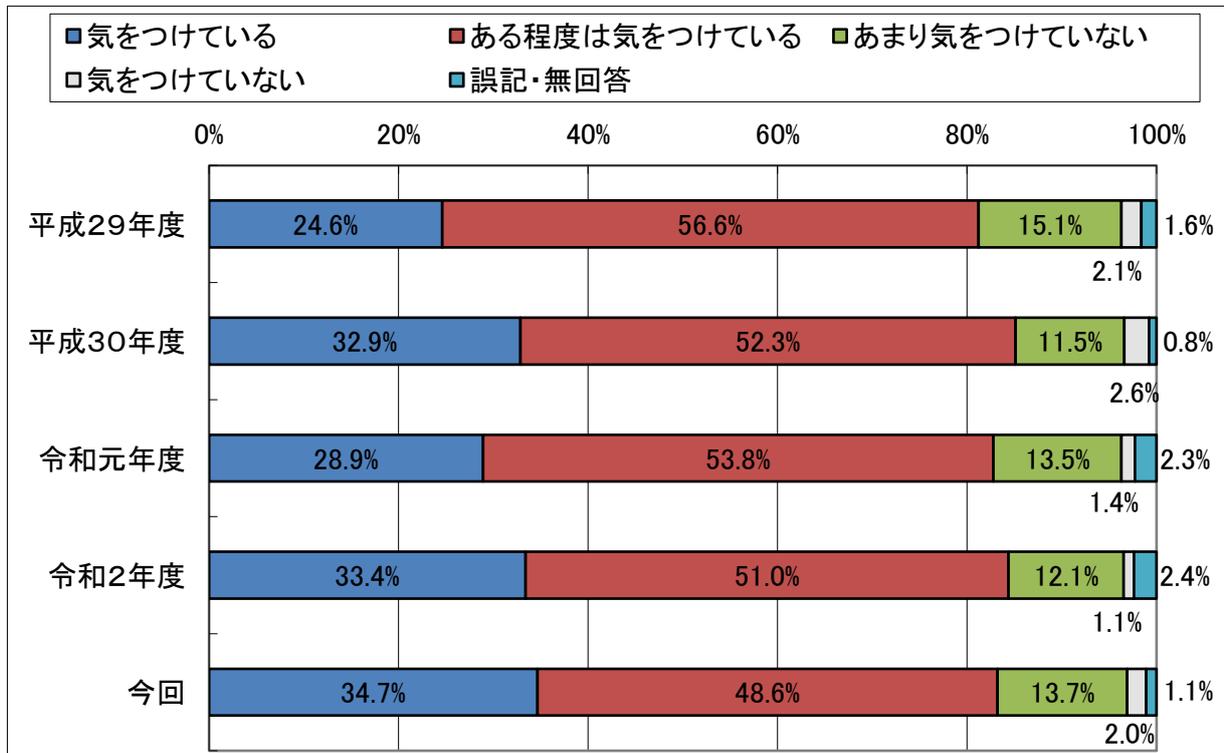


自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、83.3%の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、日頃、自分の健康に気をつけている人の割合は、80%以上で横ばい傾向となっています。

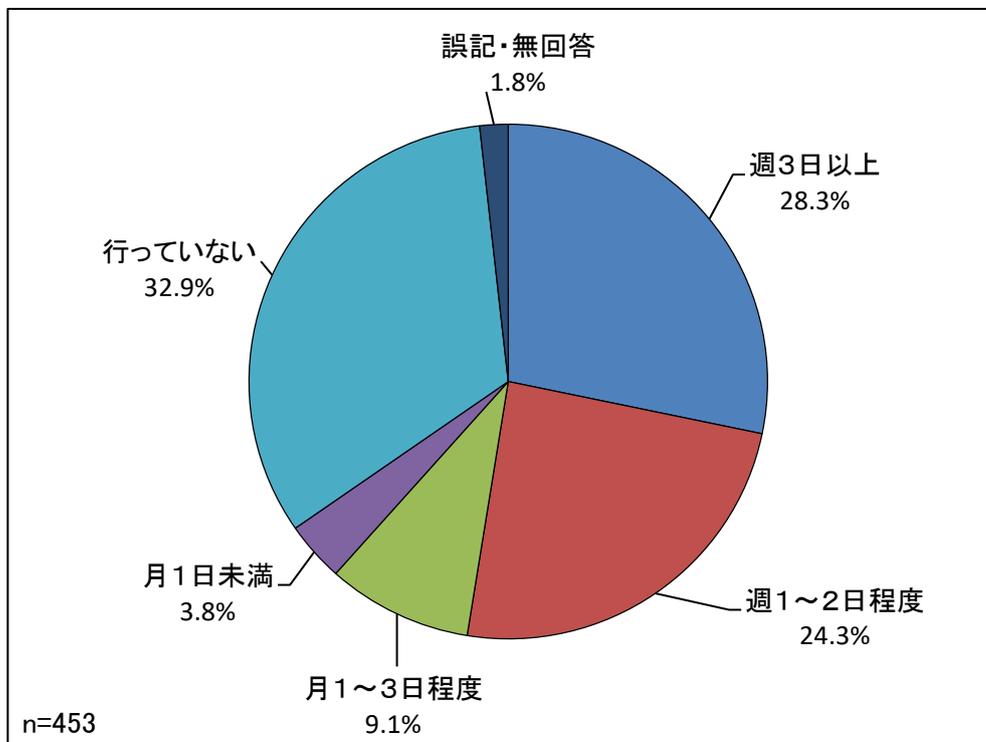
●健康に対する意識(平成29年度からの推移)



問18

健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。
あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
週3日以上	128	28.3%	2
週1～2日程度	110	24.3%	3
月1～3日程度	41	9.1%	4
月1日未満	17	3.8%	5
行っていない	149	32.9%	1
誤記・無回答	8	1.8%	

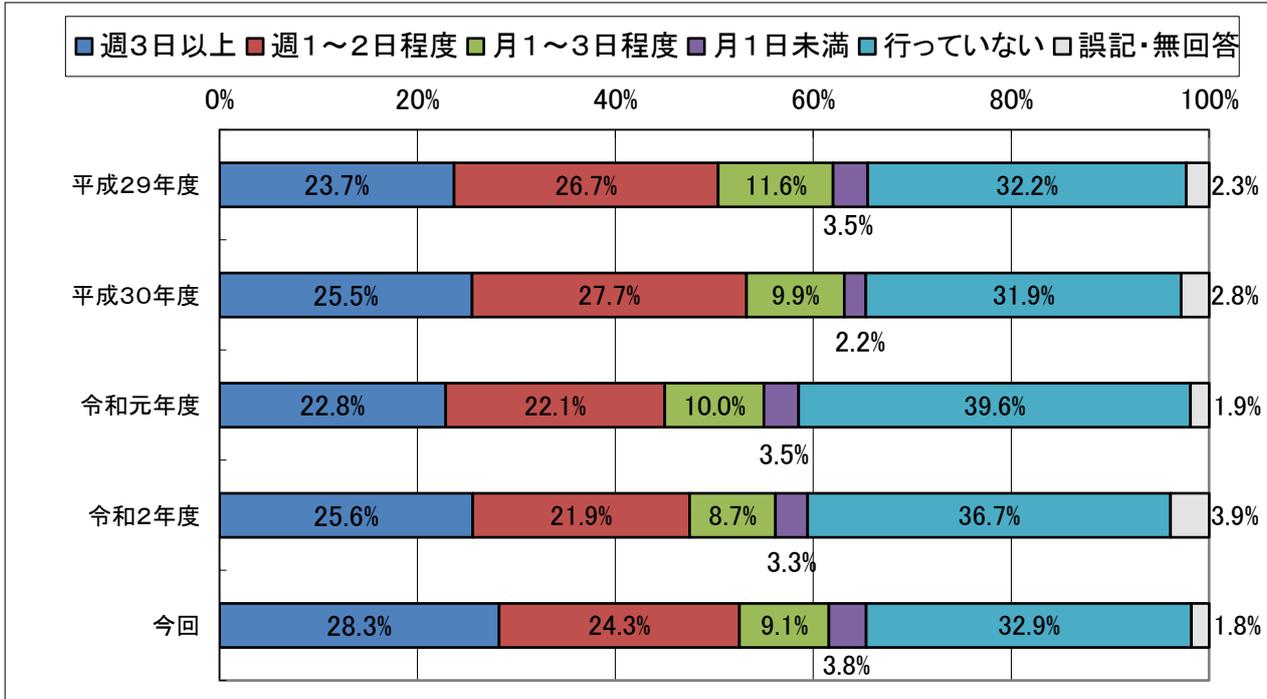


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、運動・スポーツを行っている人の中では、「週3日以上」が28.3%で最も多く、次いで「週1～2日程度」が24.3%、「月1～3日程度」が9.1%と続いており、およそ53%の人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

<経年変化>

運動・スポーツをしている頻度について平成29年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50%前後で推移しています。

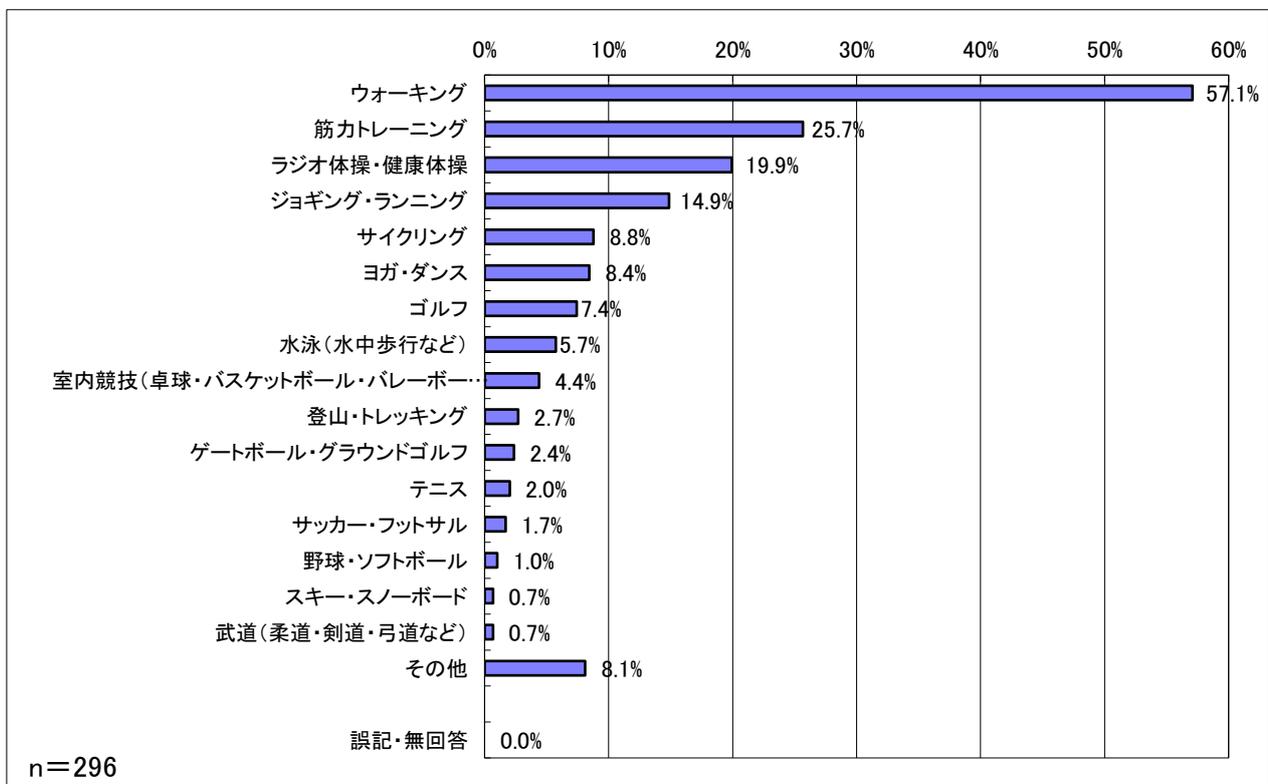
●運動・スポーツをしている頻度(平成29年度からの推移)



問18で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問19 あなたは、主にどのような運動・スポーツをしていますか。(○印は3つ以内)

回答対象者: 296人	件数	割合	順位
ウォーキング	169	57.1%	1
筋力トレーニング	76	25.7%	2
ラジオ体操・健康体操	59	19.9%	3
ジョギング・ランニング	44	14.9%	4
サイクリング	26	8.8%	5
ヨガ・ダンス	25	8.4%	6
ゴルフ	22	7.4%	7
水泳(水中歩行など)	17	5.7%	8
室内競技(卓球・バスケットボール・バレーボールなど)	13	4.4%	9
登山・トレッキング	8	2.7%	10
ゲートボール・グラウンドゴルフ	7	2.4%	11
テニス	6	2.0%	12
サッカー・フットサル	5	1.7%	13
野球・ソフトボール	3	1.0%	14
スキー・スノーボード	2	0.7%	15
武道(柔道・剣道・弓道など)	2	0.7%	15
その他	24	8.1%	—
誤記・無回答	0	0.0%	



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で57.1%、次いで「筋力トレーニング」が25.7%、「ラジオ体操・健康体操」が19.9%となっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「ウォーキング」が50%以上で推移しています。

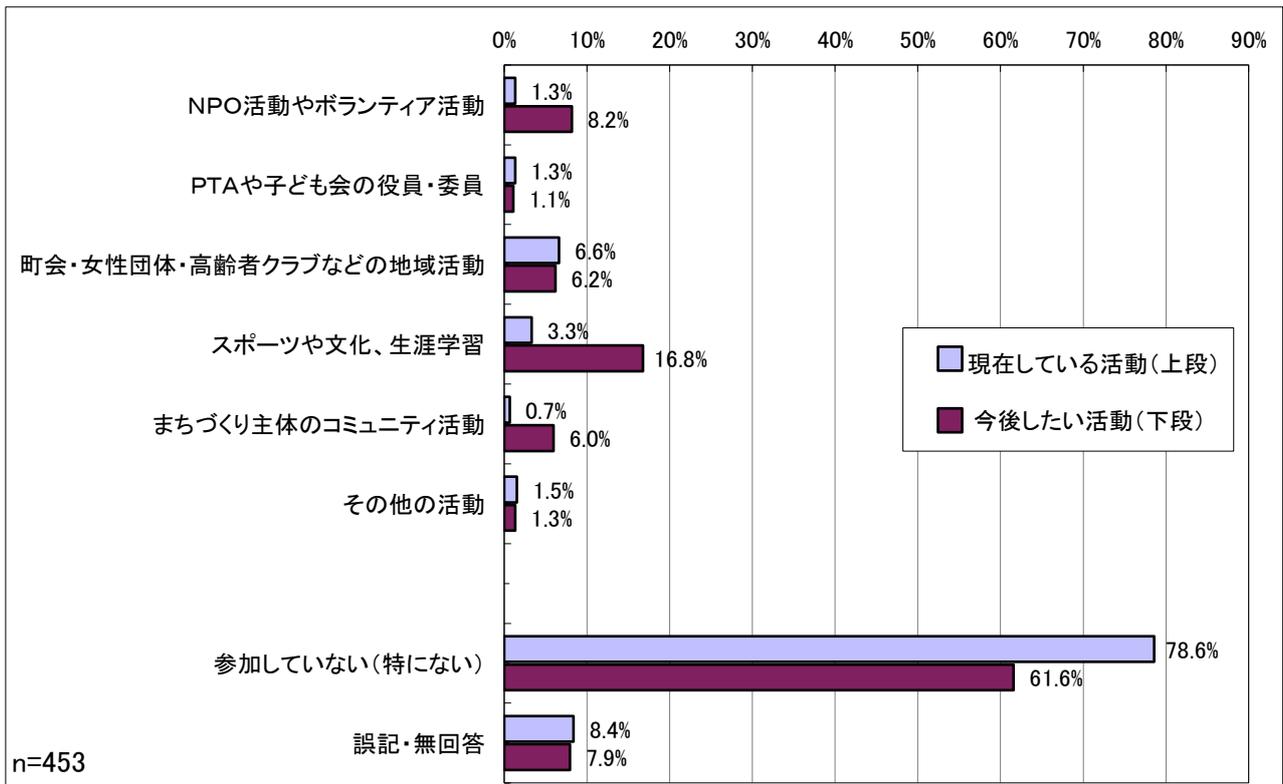
●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	ウォーキング 55.7%	筋力トレーニング 20.6%	ラジオ体操・健康体操 17.0%	ジョギング・ランニング 16.3%	ヨガ・ダンス 10.3%
平成30年度	ウォーキング 56.7%	ラジオ体操・健康体操 24.5%	筋力トレーニング 23.9%	ジョギング・ランニング 12.7%	ヨガ・ダンス 11.5%
令和元年度	ウォーキング 51.0%	筋力トレーニング 26.3%	ラジオ体操・健康体操 17.9%	ヨガ・ダンス 17.1%	ジョギング・ランニング 12.0%
令和2年度	ウォーキング 55.8%	筋力トレーニング 28.1%	ラジオ体操・健康体操 22.6%	ジョギング・ランニング 15.7%	ヨガ・ダンス 10.6%
今回	ウォーキング 57.1%	筋力トレーニング 25.7%	ラジオ体操・健康体操 19.9%	ジョギング・ランニング 14.9%	サイクリング 8.8%

<市民活動について>

問20 あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。
(○印はそれぞれいくつでも)

回答対象者: 453人	現在している活動			今後したい活動		
	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	6	1.3%	3	37	8.2%	2
PTAや子ども会の役員・委員	6	1.3%	3	5	1.1%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	30	6.6%	1	28	6.2%	3
スポーツや文化、生涯学習	15	3.3%	2	76	16.8%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	3	0.7%	5	27	6.0%	4
その他の活動	7	1.5%	—	6	1.3%	—
参加していない(特にない)	356	78.6%		279	61.6%	
誤記・無回答	38	8.4%		36	7.9%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が6.6%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の3.3%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の16.8%が最も多く、次いで「NPO活動やボランティア活動」の8.2%となっています。

<経年変化>

【現在の状況】

現在している市民活動について、平成29年度からの推移を見ると、1位には「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」、2位には「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

●現在している市民活動 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成29年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.7%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 4.2%	NPO活動やボランティア活動 3.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 1.6%	65.0%
平成30年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 11.9%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	PTAや子ども会の役員・委員 6.1%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 3.6%	66.1%
令和元年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、生涯学習 4.9%	PTAや子ども会の役員・委員 4.4%	NPO活動やボランティア活動 4.0%	まちづくり主体のコミュニティ活動 0.7%	71.8%
令和2年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.8%	スポーツや文化、生涯学習 6.7%	NPO活動やボランティア活動 6.1%	PTAや子ども会の役員・委員 4.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 0.9%	70.5%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 6.6%	スポーツや文化、生涯学習 3.3%	NPO活動やボランティア活動 PTAや子ども会の役員・委員 1.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 0.7%		78.6%

※「その他」・「無回答」は除く

【今後の意向】

今後したいと思う市民活動について、平成29年度からの推移を見ると、1位には「スポーツや文化、生涯学習」が続いています。

●今後したいと思う市民活動 上位5位(平成29年度からの推移)

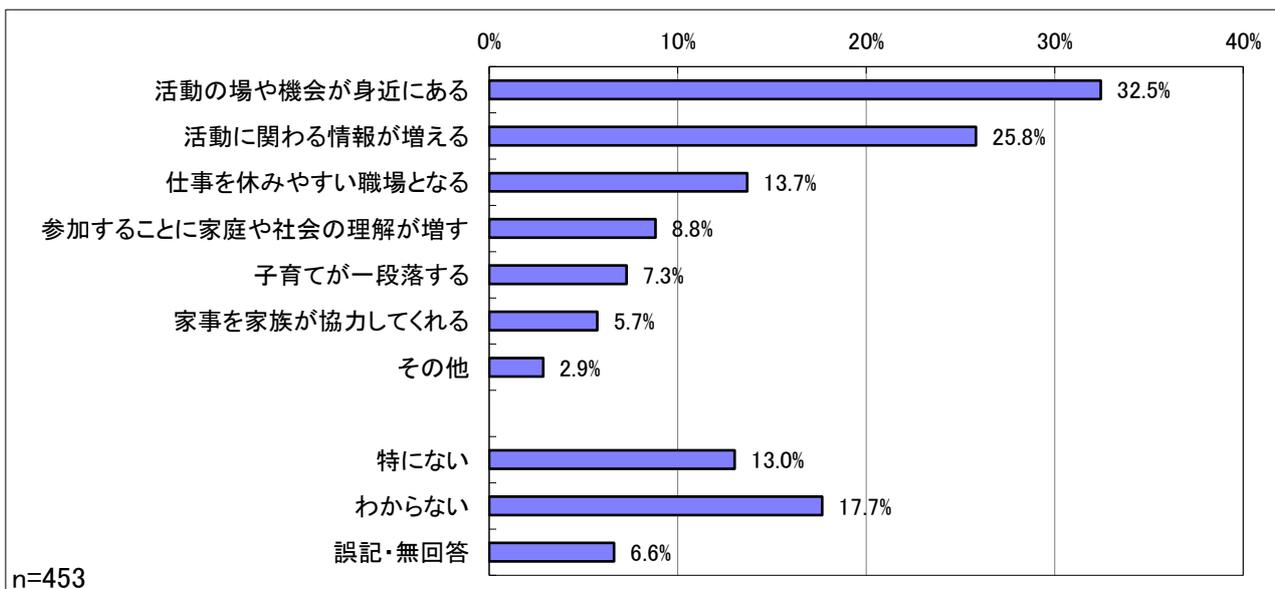
	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成29年度	スポーツや文化、生涯学習 21.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.8%	NPO活動やボランティア活動 8.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	53.4%
平成30年度	スポーツや文化、生涯学習 21.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.9%	NPO活動やボランティア活動 9.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.1%	PTAや子ども会の役員・委員 2.2%	52.5%
令和元年度	スポーツや文化、生涯学習 17.9%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.3%	NPO活動やボランティア活動 9.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 4.7%	PTAや子ども会の役員・委員 3.3%	57.3%
令和2年度	スポーツや文化、生涯学習 19.7%	NPO活動やボランティア活動 10.6%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.1%	PTAや子ども会の役員・委員 1.5%	56.0%
今回	スポーツや文化、生涯学習 16.8%	NPO活動やボランティア活動 8.2%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 6.2%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.0%	PTAや子ども会の役員・委員 1.1%	61.6%

※「その他」・「無回答」は除く

問21

上記の活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。
(○印は2つ以内)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	147	32.5%	1
活動に関わる情報が増える	117	25.8%	2
仕事を休みやすい職場となる	62	13.7%	3
参加することに家庭や社会の理解が増す	40	8.8%	4
子育てが一段落する	33	7.3%	5
家事を家族が協力してくれる	26	5.7%	6
その他	13	2.9%	—
特にない	59	13.0%	
わからない	80	17.7%	
誤記・無回答	30	6.6%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の32.5%、次いで「活動に関わる情報が増える」の25.8%、「仕事を休みやすい職場となる」の13.7%となっています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30%を超えています。

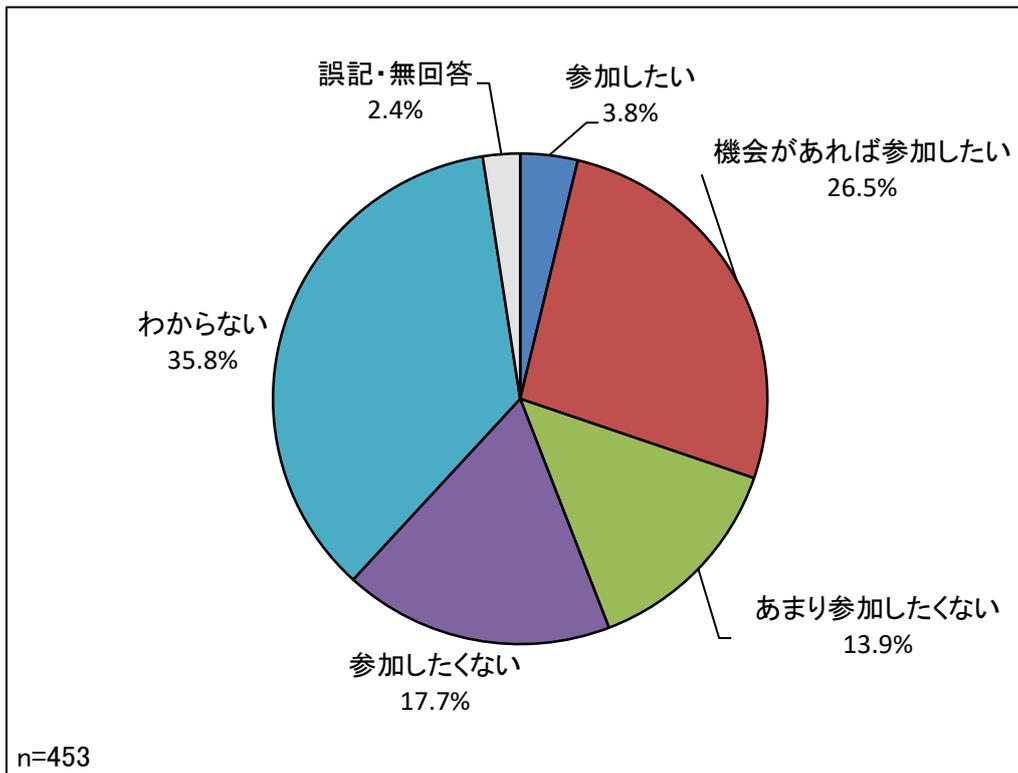
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	活動の場や機会が 身近にある 35.7%	活動に関わる情報が 増える 28.8%	仕事を休みやすい 職場となる 13.7%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 11.4%	子育てが一段落す る 9.7%
平成30年度	活動の場や機会が 身近にある 35.8%	活動に関わる情報が 増える 25.5%	仕事を休みやすい 職場となる 16.4%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 15.0%	子育てが一段落す る 11.7%
令和元年度	活動の場や機会が 身近にある 33.6%	活動に関わる情報が 増える 28.0%	仕事を休みやすい 職場となる 16.3%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 11.2%	子育てが一段落す る 10.7%
令和2年度	活動の場や機会が 身近にある 34.9%	活動に関わる情報が 増える 26.0%	仕事を休みやすい 職場となる 12.6%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 11.3%	子育てが一段落す る 10.0%
今回	活動の場や機会が 身近にある 32.5%	活動に関わる情報が 増える 25.8%	仕事を休みやすい 職場となる 13.7%	参加することに家庭 や社会の理解が増 す 8.8%	子育てが一段落す る 7.3%

<市民参加について>

問22 あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。(○印は1つ)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
参加したい	17	3.8%	5
機会があれば参加したい	120	26.5%	2
あまり参加したくない	63	13.9%	4
参加したくない	80	17.7%	3
わからない	162	35.8%	1
誤記・無回答	11	2.4%	

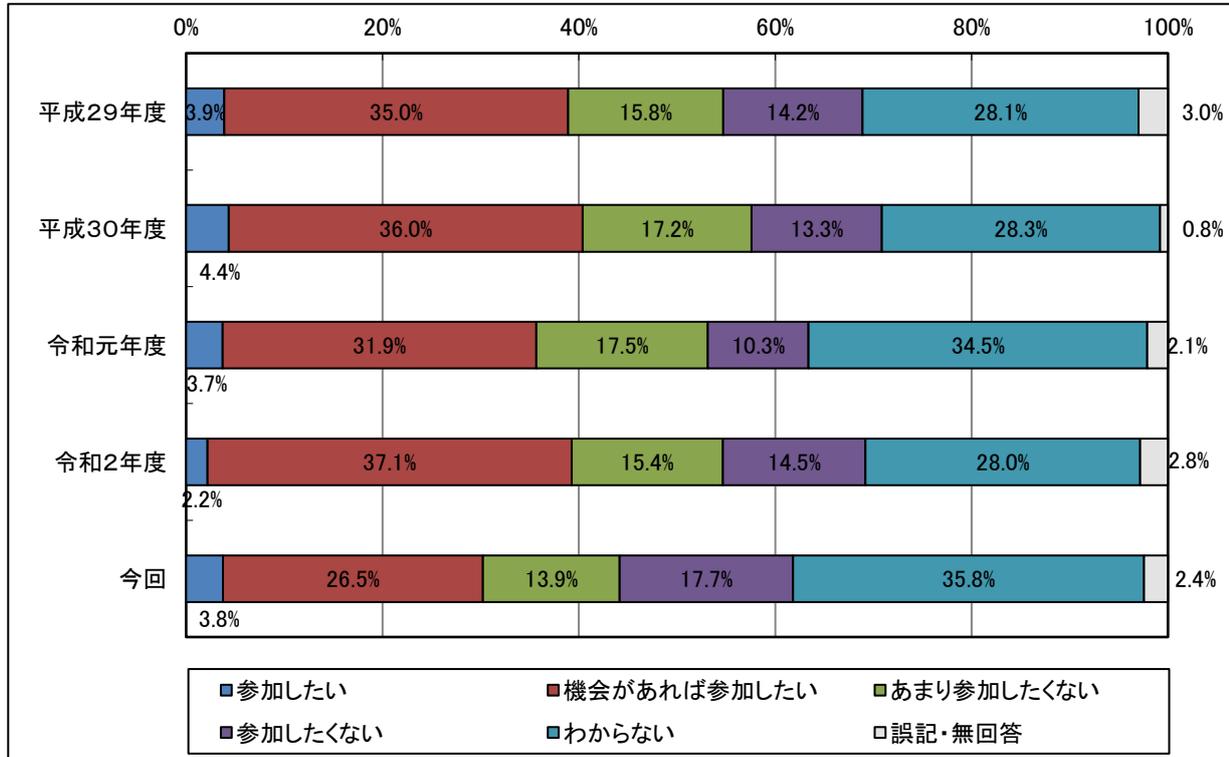


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「参加したい」が3.8%、「機会があれば参加したい」が26.5%となっており、これらを合わせた30.3%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性がうかがえます。

< 経年変化 >

平成29年度からの推移を見ると、「参加したい」と「機会があれば参加したい」を合わせた市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向を持つ人の割合は40%程度で推移していましたが、今年度はおよそ9ポイント減少しました。

● 市政の計画づくりやまちづくりへの参加について(平成29年度からの推移)

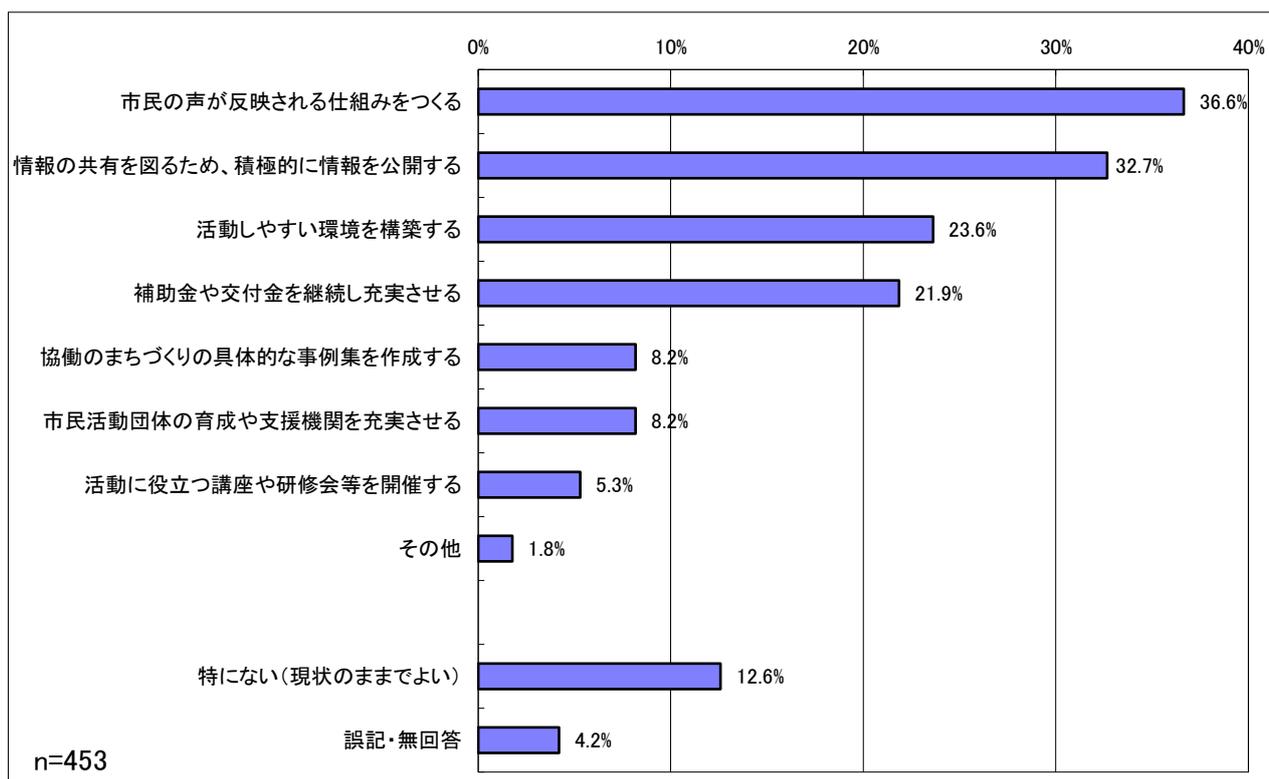


<協働のまちづくりについて>

問23

市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。(○印は2つ以内)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
市民の声が反映される仕組みをつくる	166	36.6%	1
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	148	32.7%	2
活動しやすい環境を構築する	107	23.6%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	99	21.9%	4
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	37	8.2%	5
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	37	8.2%	5
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	24	5.3%	7
その他	8	1.8%	-
特にない(現状のままでよい)	57	12.6%	-
誤記・無回答	19	4.2%	-



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「市民の声が反映される仕組みをつくる」が36.6%、次いで「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が32.7%、「活動しやすい環境を構築する」が23.6%と続いています。

<経年変化>

平成29年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、「市民の声が反映される仕組みをつくる」、「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」の割合が30%台で推移しています。

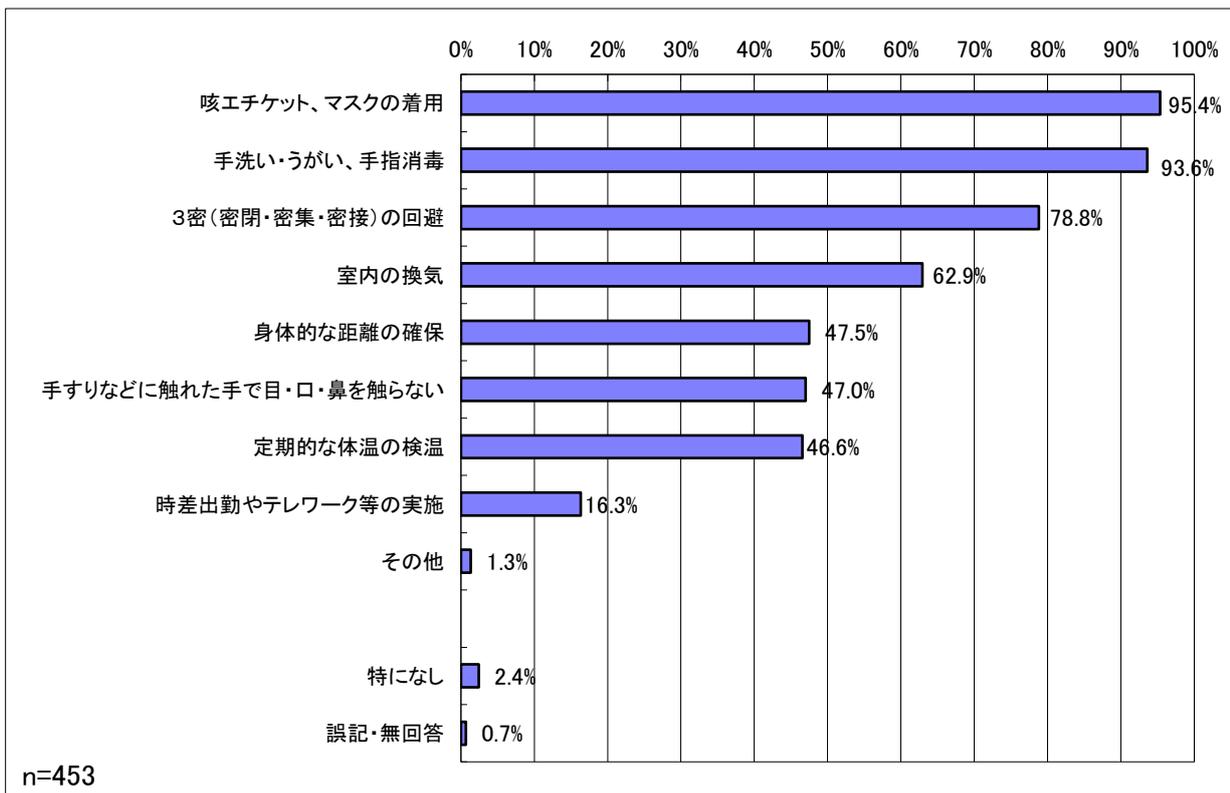
●協働のまちづくりに必要なこと 上位5位(平成29年度からの推移)

	1位	2位	3位	4位	5位
平成29年度	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 39.2%	市民の声が反映される仕組みをつくる 36.2%	活動しやすい環境を構築する 24.6%	補助金や交付金を継続し充実させる 13.0%	活動に役立つ講座や研修会等を開催する 10.4%
平成30年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 38.0%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 37.2%	活動しやすい環境を構築する 20.4%	補助金や交付金を継続し充実させる 15.6%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 12.3%
令和元年度	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 39.4%	市民の声が反映される仕組みをつくる 38.7%	活動しやすい環境を構築する 24.0%	補助金や交付金を継続し充実させる 14.0%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 11.9%
令和2年度	市民の声が反映される仕組みをつくる 37.5%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 33.2%	活動しやすい環境を構築する 23.0%	補助金や交付金を継続し充実させる 17.8%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 10.6%
今回	市民の声が反映される仕組みをつくる 36.6%	情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する 32.7%	活動しやすい環境を構築する 23.6%	補助金や交付金を継続し充実させる 21.9%	協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する 市民活動団体の育成や支援機関を充実させる 8.2%

<新型コロナウイルス感染症について>

問24 新型コロナウイルス感染症の予防のために、あなたが気を付けていることはありますか。(○印はいくつでも)

回答対象者: 453人	件数	割合	順位
咳エチケット、マスクの着用	432	95.4%	1
手洗い・うがい、手指消毒	424	93.6%	2
3密(密閉・密集・密接)の回避	357	78.8%	3
室内の換気	285	62.9%	4
身体的な距離の確保	215	47.5%	5
手すりなどに触れた手で目・口・鼻を触らない	213	47.0%	6
定期的な体温の検温	211	46.6%	7
時差出勤やテレワーク等の実施	74	16.3%	8
その他	6	1.3%	—
特になし	11	2.4%	
誤記・無回答	3	0.7%	



新型コロナウイルス感染症の予防のために、気を付けていることについてたずねたところ、「咳エチケット、マスクの着用」が95.4%で最も多く、次いで「手洗い・うがい、手指消毒」が93.6%、「3密(密閉・密集・密接)の回避」が78.8%と続いており、およそ97%の人が何らかの感染予防対策を行っていると回答しています。

● 重点施策（重要度） ※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問25 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～36の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください

1：重要である 2：どちらかといえば重要である 3：どちらともいえない
4：どちらかといえば重要ではない 5：重要ではない 6：わからない

(件)

1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
---	---	---	---	---	---	--------	-----	----

【安全で安心して暮らせるまち】

() 内は昨年の順位

1) 防災対策	303	104	11	0	1	10	24	4.69	3(1)
2) 防犯対策	312	94	14	1	1	7	24	4.69	2(2)
3) 交通安全対策	247	132	26	3	0	10	35	4.53	4(10)
4) 消費者保護	143	171	70	7	2	24	36	4.13	17(20)
5) 消防・救急体制	312	94	12	1	1	9	24	4.70	1(3)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】

6) 子育て支援	206	111	41	4	2	53	36	4.41	8(9)
7) 学校教育の充実	199	114	43	2	3	54	38	4.40	10(8)
8) 青少年の健全育成	157	145	52	5	1	58	35	4.26	14(17)

【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】

9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	106	182	89	9	4	27	36	3.97	22(24)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	237	135	39	2	3	15	22	4.44	7(6)
11) 高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	109	185	90	11	5	23	30	3.96	23(21)
12) 障害者支援	165	164	57	4	3	27	33	4.23	15(14)
13) 健康づくりの推進	118	183	80	11	4	27	30	4.01	19(18)
14) 市立病院の充実	258	116	32	4	3	17	23	4.51	5(7)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】

15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	90	166	110	19	4	29	35	3.82	27(27)
16) 商店街の活性化	132	169	83	22	3	22	22	3.99	21(23)
17) 勤労者支援	102	175	94	13	4	31	34	3.92	25(22)
18) 生涯学習の充実	69	164	120	23	6	35	36	3.70	30(30)
19) 芸術・文化活動の振興	63	162	124	21	8	41	34	3.66	31(31)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	51	155	138	26	8	41	34	3.57	34(33)

【快適で過ごしやすい環境にやさしいまち】

21) 蕨駅周辺の整備	207	143	49	9	5	14	26	4.30	12(11)
22) 区画整理	115	143	111	13	7	37	27	3.89	26(26)
23) 道路・歩道の整備	185	188	36	4	3	13	24	4.32	11(13)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	124	169	94	16	7	19	24	3.94	24(25)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	240	142	26	3	1	18	23	4.50	6(5)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	126	181	92	11	4	12	27	4.00	20(19)
27) 市営住宅の整備	77	105	137	31	14	62	27	3.55	35(36)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	169	172	54	9	2	24	23	4.22	16(15)

【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】

29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	61	162	130	12	6	57	25	3.70	29(29)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	78	146	119	11	7	62	30	3.77	28(28)
31) 国際交流・多文化共生の推進	64	115	133	28	20	63	30	3.49	36(35)
32) 男女共同参画の推進	65	136	132	18	9	61	32	3.64	33(34)

【その他】

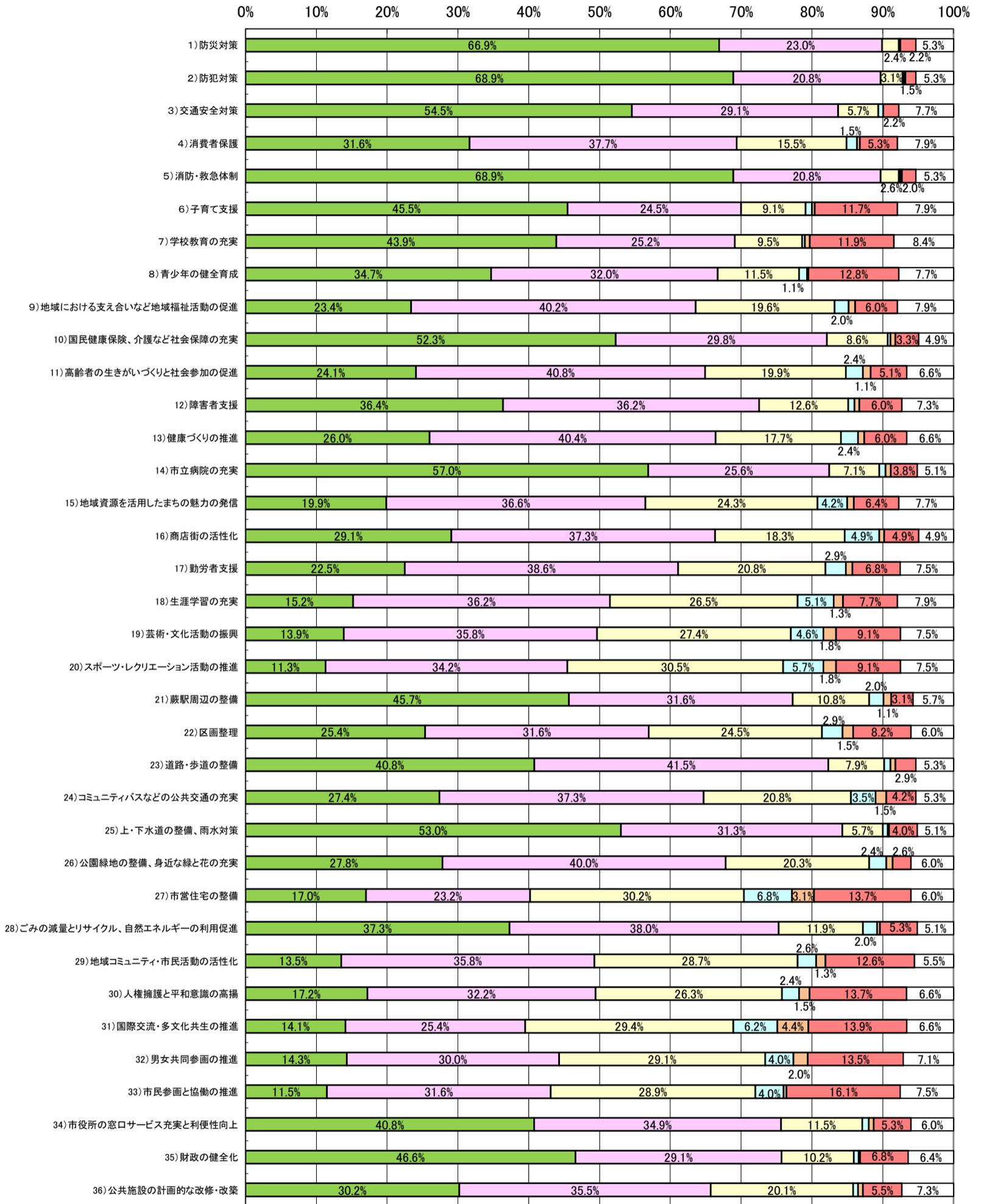
33) 市民参画と協働の推進	52	143	131	18	2	73	34	3.65	32(32)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	185	158	52	4	3	24	27	4.29	13(12)
35) 財政の健全化	211	132	46	3	1	31	29	4.40	9(4)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	137	161	91	3	3	25	33	4.08	18(16)

施策重要度平均 4.09

施策重要度 回答別割合

■ 重要である ■ どちらかといえば重要である ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば重要ではない
■ 重要ではない ■ わからない ■ 誤記・無回答

※1.0%未満の数字は記載を省略



平均値順（重要度）

※各項目の上位3つは黄色、下位3つは緑色で網掛け。

順位 (昨年度)	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	R2	R1	H30	過去 3か年 平均	3か年平均 との比較
1 (3)	消防・救急体制	312	94	12	1	1	9	4.70	4.59	4.57	4.68	4.61	0.09
2 (2)	防犯対策	312	94	14	1	1	7	4.69	4.64	4.65	4.73	4.67	0.02
3 (1)	防災対策	303	104	11	0	1	10	4.69	4.65	4.60	4.69	4.65	0.04
4 (10)	交通安全対策	247	132	26	3	0	10	4.53	4.33	4.42	4.56	4.44	0.09
5 (7)	市立病院の充実	258	116	32	4	3	17	4.51	4.37	4.41	4.45	4.41	0.10
6 (5)	上・下水道の整備、雨水対策	240	142	26	3	1	18	4.50	4.48	4.40	4.36	4.41	0.09
7 (6)	国民健康保険、介護など社会保障の充実	237	135	39	2	3	15	4.44	4.40	4.36	4.42	4.39	0.05
8 (9)	子育て支援	206	111	41	4	2	53	4.41	4.35	4.31	4.42	4.36	0.05
9 (4)	財政の健全化	211	132	46	3	1	31	4.40	4.49	4.38	4.44	4.44	▲ 0.04
10 (8)	学校教育の充実	199	114	43	2	3	54	4.40	4.35	4.37	4.38	4.37	0.03
11 (13)	道路・歩道の整備	185	188	36	4	3	13	4.32	4.22	4.21	4.29	4.24	0.08
12 (11)	蕨駅周辺の整備	207	143	49	9	5	14	4.30	4.25	4.25	4.27	4.26	0.04
13 (12)	市役所の窓口サービス充実と利便性向上	185	158	52	4	3	24	4.29	4.24	4.17	4.22	4.21	0.08
14 (17)	青少年の健全育成	157	145	52	5	1	58	4.26	4.13	4.17	4.24	4.18	0.08
15 (14)	障害者支援	165	164	57	4	3	27	4.23	4.21	4.14	4.19	4.18	0.05
16 (15)	ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	169	172	54	9	2	24	4.22	4.16	3.99	4.13	4.09	0.13
17 (20)	消費者保護	143	171	70	7	2	24	4.13	3.97	3.83	4.08	3.96	0.17
18 (16)	公共施設の計画的な改修・改築	137	161	91	3	3	25	4.08	4.16	4.15	4.16	4.16	▲ 0.08
19 (18)	健康づくりの推進	118	183	80	11	4	27	4.01	4.02	3.97	4.04	4.01	0.00
20 (19)	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	126	181	92	11	4	12	4.00	4.02	3.93	4.07	4.01	▲ 0.01
21 (23)	商店街の活性化	132	169	83	22	3	22	3.99	3.89	3.94	3.95	3.93	0.06
22 (24)	地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	106	182	89	9	4	27	3.97	3.89	3.88	3.96	3.91	0.06
23 (21)	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	109	185	90	11	5	23	3.96	3.94	3.92	3.95	3.94	0.02
24 (25)	コミュニティバスなどの公共交通の充実	124	169	94	16	7	19	3.94	3.88	4.05	3.97	3.97	▲ 0.03
25 (22)	勤労者支援	102	175	94	13	4	31	3.92	3.91	3.82	3.88	3.87	0.05
26 (26)	区画整理	115	143	111	13	7	37	3.89	3.80	3.87	3.88	3.85	0.04
27 (27)	地域資源を活用したまちの魅力の発信	90	166	110	19	4	29	3.82	3.72	3.71	3.79	3.74	0.08
28 (28)	人権擁護と平和意識の高揚	78	146	119	11	7	62	3.77	3.70	3.62	3.67	3.66	0.11
29 (29)	地域コミュニティ・市民活動の活性化	61	162	130	12	6	57	3.70	3.69	3.70	3.76	3.72	▲ 0.02
30 (30)	生涯学習の充実	69	164	120	23	6	35	3.70	3.68	3.62	3.69	3.66	0.04
31 (31)	芸術・文化活動の振興	63	162	124	21	8	41	3.66	3.64	3.50	3.55	3.56	0.10
32 (32)	市民参画と協働の推進	52	143	131	18	2	73	3.65	3.63	3.60	3.63	3.62	0.03
33 (34)	男女共同参画の推進	65	136	132	18	9	61	3.64	3.54	3.52	3.51	3.52	0.12
34 (33)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	51	155	138	26	8	41	3.57	3.62	3.50	3.59	3.57	0.00
35 (36)	市営住宅の整備	77	105	137	31	14	62	3.55	3.35	3.38	3.40	3.38	0.17
36 (35)	国際交流・多文化共生の推進	64	115	133	28	20	63	3.49	3.44	3.38	3.32	3.38	0.11
施策重要度平均								4.09	4.04	4.01	4.06	4.04	0.05

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、1位「消防・救急体制」（前年3位）、2位「防犯対策」（前年2位）、3位「防災対策」（前年1位）となり、昨年度に続いて【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「国際交流・多文化共生の推進」、「市営住宅の整備」、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均が過去3か年平均よりも0.05ポイント上昇しています。上昇している施策としては、「消費者保護」、「市営住宅の整備」、「ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進」と続き、減少している施策としては、「公共施設の計画的な改修・改築」、「財政の健全化」、「コミュニティバスなどの公共交通の充実」と続いています。

● 重点施策（満足度） ※項目は、「コンパクトシティ 蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問25 あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～36の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ1つずつお選びください

1：満足している 2：どちらかといえば満足している 3：どちらともいえない
4：どちらかといえば満足していない 5：満足していない 6：わからない

(件)

1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	順位
---	---	---	---	---	---	--------	-----	----

【安全で安心して暮らせるまち】

() 内は昨年の順位

1) 防災対策	23	112	177	24	21	62	34	3.26	3(5)
2) 防犯対策	18	97	192	34	28	50	34	3.12	13(25)
3) 交通安全対策	17	101	185	40	23	47	40	3.13	10(13)
4) 消費者保護	17	63	207	18	14	94	40	3.16	8(15)
5) 消防・救急体制	47	114	160	20	9	70	33	3.49	1(1)

【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】

6) 子育て支援	10	63	140	12	11	169	48	3.21	6(3)
7) 学校教育の充実	7	53	142	23	12	170	46	3.08	15(4)
8) 青少年の健全育成	7	34	164	15	8	175	50	3.07	16(17)

【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】

9) 地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	10	54	185	24	8	128	44	3.12	12(10)
10) 国民健康保険、介護など社会保障の充実	18	82	171	28	16	100	38	3.18	7(7)
11) 高齢者の生きがいくりと社会参加の促進	10	52	177	23	9	139	43	3.11	14(16)
12) 障害者支援	12	46	177	19	9	145	45	3.13	11(12)
13) 健康づくりの推進	5	58	189	24	15	120	42	3.05	19(9)
14) 市立病院の充実	17	62	131	51	68	87	37	2.72	34(34)

【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】

15) 地域資源を活用したまちの魅力の発信	4	46	170	52	29	107	45	2.81	32(29)
16) 商店街の活性化	1	29	143	72	83	90	35	2.37	36(36)
17) 勤労者支援	2	24	184	34	26	140	43	2.79	33(33)
18) 生涯学習の充実	4	27	181	31	16	151	43	2.89	28(21)
19) 芸術・文化活動の振興	4	35	179	32	23	138	42	2.87	30(22)
20) スポーツ・レクリエーション活動の推進	3	34	181	30	24	138	43	2.86	31(24)

【快適で過ごしやすい環境にやさしいまち】

21) 蕨駅周辺の整備	19	82	120	82	83	29	38	2.67	35(35)
22) 区画整理	14	73	157	37	48	81	43	2.90	26(27)
23) 道路・歩道の整備	19	101	129	79	54	33	38	2.87	29(30)
24) コミュニティバスなどの公共交通の充実	34	103	147	49	23	63	34	3.21	5(2)
25) 上・下水道の整備、雨水対策	29	139	115	36	23	68	43	3.34	2(8)
26) 公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	25	123	151	48	23	44	39	3.21	4(6)
27) 市営住宅の整備	8	31	163	18	24	172	37	2.92	25(28)
28) ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	16	70	164	42	22	105	34	3.05	18(14)

【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】

29) 地域コミュニティ・市民活動の活性化	5	37	178	16	14	158	45	3.01	20(11)
30) 人権擁護と平和意識の高揚	4	43	179	12	12	156	47	3.06	17(19)
31) 国際交流・多文化共生の推進	4	31	164	21	22	164	47	2.89	27(26)
32) 男女共同参画の推進	3	26	178	17	9	174	46	2.99	22(23)

【その他】

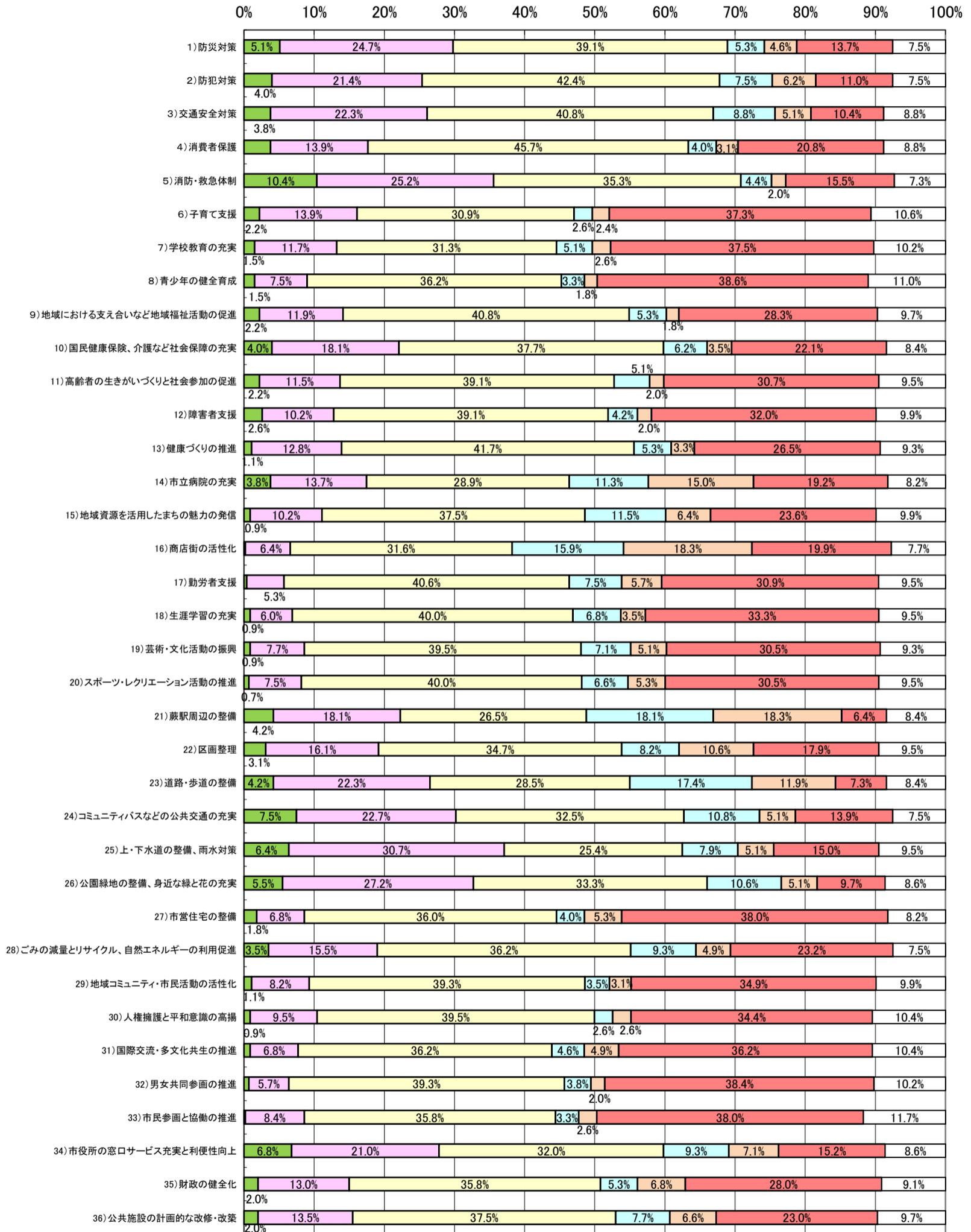
33) 市民参画と協働の推進	1	38	162	15	12	172	53	3.00	21(18)
34) 市役所の窓口サービス充実と利便性向上	31	95	145	42	32	69	39	3.15	9(20)
35) 財政の健全化	9	59	162	24	31	127	41	2.97	23(32)
36) 公共施設の計画的な改修・改築	9	61	170	35	30	104	44	2.95	24(31)

施策満足度平均 3.02

施策満足度 回答別割合

■ 満足している □ どちらかといえば満足している □ どちらともいえない □ どちらかといえば満足していない
■ 満足していない ■ わからない □ 誤記・無回答

※1.0%未満の数字は記載を省略



平均値順（満足度）

※各項目の上位3つは黄色、下位3つは緑色で網掛け。

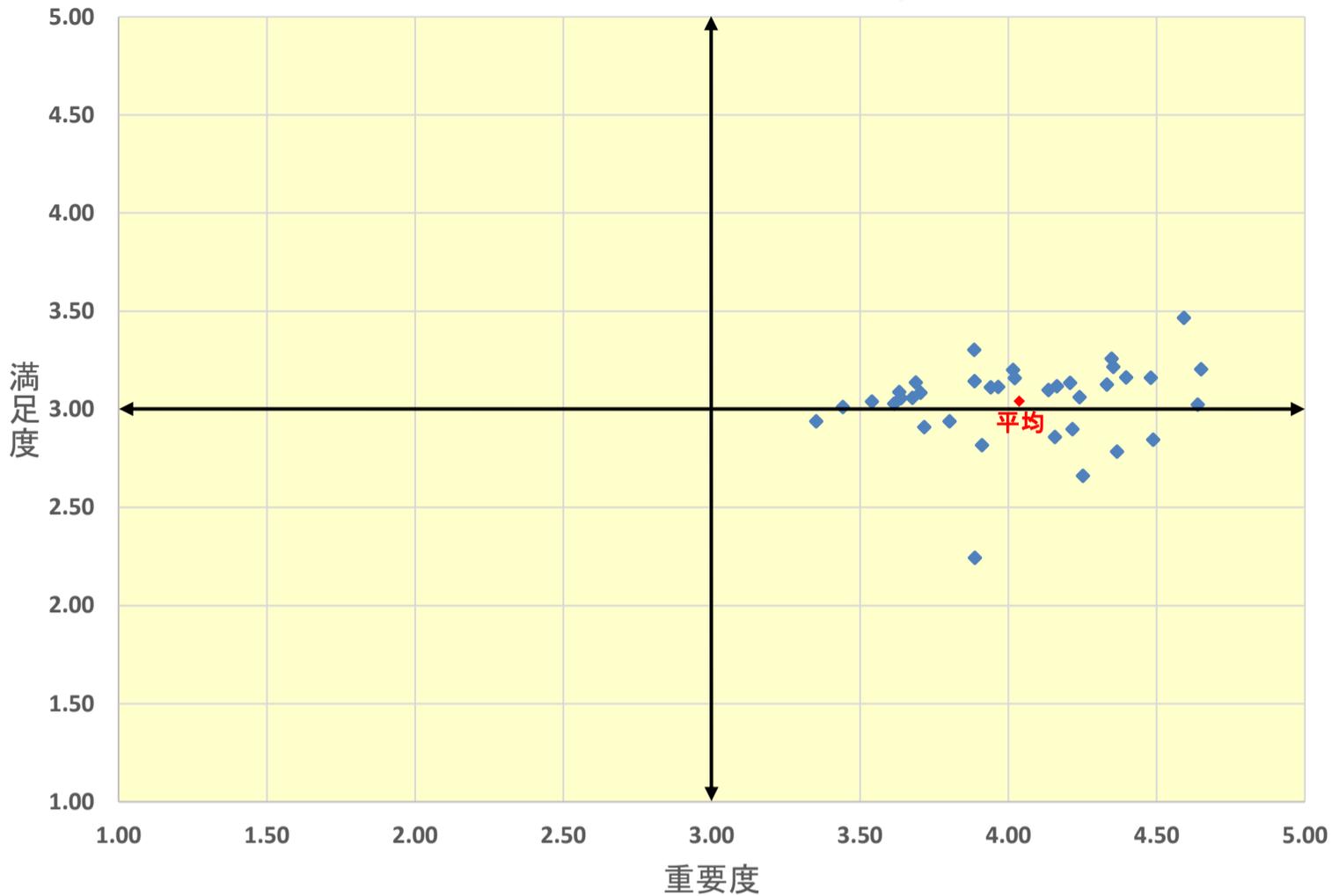
順位 (昨年度)	項目	1	2	3	4	5	6	平均値	R2	R1	H30	過去 3か年 平均	3か年平均 との比較
1 (1)	消防・救急体制	47	114	160	20	9	70	3.49	3.46	3.46	3.46	3.46	0.03
2 (8)	上・下水道の整備、雨水対策	29	139	115	36	23	68	3.34	3.16	3.27	3.15	3.19	0.15
3 (5)	防災対策	23	112	177	24	21	62	3.26	3.20	3.18	3.25	3.21	0.05
4 (6)	公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	25	123	151	48	23	44	3.21	3.20	3.19	3.19	3.19	0.02
5 (2)	コミュニティバスなどの公共交通の充実	34	103	147	49	23	63	3.21	3.30	3.07	3.19	3.19	0.02
6 (3)	子育て支援	10	63	140	12	11	169	3.21	3.26	3.26	3.29	3.27	▲ 0.06
7 (7)	国民健康保険、介護など社会保障の充実	18	82	171	28	16	100	3.18	3.16	3.07	3.11	3.11	0.07
8 (15)	消費者保護	17	63	207	18	14	94	3.16	3.11	3.06	3.09	3.09	0.07
9 (20)	市役所の窓口サービス充実と利便性向上	31	95	145	42	32	69	3.15	3.06	3.10	3.08	3.08	0.07
10 (13)	交通安全対策	17	101	185	40	23	47	3.13	3.13	2.99	3.07	3.06	0.07
11 (12)	障害者支援	12	46	177	19	9	145	3.13	3.13	2.99	3.00	3.04	0.09
12 (10)	地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	10	54	185	24	8	128	3.12	3.14	3.11	3.11	3.12	0.00
13 (25)	防犯対策	18	97	192	34	28	50	3.12	3.02	2.83	3.00	2.95	0.17
14 (16)	高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	10	52	177	23	9	139	3.11	3.11	3.07	3.08	3.09	0.02
15 (4)	学校教育の充実	7	53	142	23	12	170	3.08	3.22	3.11	3.12	3.15	▲ 0.07
16 (17)	青少年の健全育成	7	34	164	15	8	175	3.07	3.10	3.06	3.08	3.08	▲ 0.01
17 (19)	人権擁護と平和意識の高揚	4	43	179	12	12	156	3.06	3.08	3.05	3.09	3.07	▲ 0.01
18 (14)	ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	16	70	164	42	22	105	3.05	3.12	3.06	3.09	3.09	▲ 0.04
19 (9)	健康づくりの推進	5	58	189	24	15	120	3.05	3.16	3.12	3.27	3.18	▲ 0.13
20 (11)	地域コミュニティ・市民活動の活性化	5	37	178	16	14	158	3.01	3.14	3.14	3.14	3.14	▲ 0.13
21 (18)	市民参画と協働の推進	1	38	162	15	12	172	3.00	3.09	3.04	3.01	3.05	▲ 0.05
22 (23)	男女共同参画の推進	3	26	178	17	9	174	2.99	3.04	3.03	3.05	3.04	▲ 0.05
23 (32)	財政の健全化	9	59	162	24	31	127	2.97	2.85	2.82	2.89	2.85	0.12
24 (31)	公共施設の計画的な改修・改築	9	61	170	35	30	104	2.95	2.86	2.78	2.91	2.85	0.10
25 (28)	市営住宅の整備	8	31	163	18	24	172	2.92	2.94	2.93	2.96	2.94	▲ 0.02
26 (27)	区画整理	14	73	157	37	48	81	2.90	2.94	2.80	2.88	2.87	0.03
27 (26)	国際交流・多文化共生の推進	4	31	164	21	22	164	2.89	3.01	2.93	2.96	2.97	▲ 0.08
28 (21)	生涯学習の充実	4	27	181	31	16	151	2.89	3.06	3.06	3.05	3.06	▲ 0.17
29 (30)	道路・歩道の整備	19	101	129	79	54	33	2.87	2.90	2.77	2.82	2.83	0.04
30 (22)	芸術・文化活動の振興	4	35	179	32	23	138	2.87	3.06	3.06	3.05	3.06	▲ 0.19
31 (24)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	3	34	181	30	24	138	2.86	3.03	3.01	3.02	3.02	▲ 0.16
32 (29)	地域資源を活用したまちの魅力を発信	4	46	170	52	29	107	2.81	2.91	2.79	2.84	2.85	▲ 0.04
33 (33)	勤労者支援	2	24	184	34	26	140	2.79	2.82	2.70	2.76	2.76	0.03
34 (34)	市立病院の充実	17	62	131	51	68	87	2.72	2.78	2.61	2.67	2.69	0.03
35 (35)	蕨駅周辺の整備	19	82	120	82	83	29	2.67	2.66	2.51	2.60	2.59	0.08
36 (36)	商店街の活性化	1	29	143	72	83	90	2.37	2.24	2.16	2.23	2.21	0.16
施策満足度平均								3.02	3.04	2.98	3.02	3.01	0.01

●市民の満足度が高い施策は、1位「消防・救急体制」（前年1位）、2位「上・下水道の整備、雨水対策」（前年8位）、3位「防災対策」（前年5位）となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「蕨駅周辺の整備」、「市立病院の充実」は、満足度が低くなっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

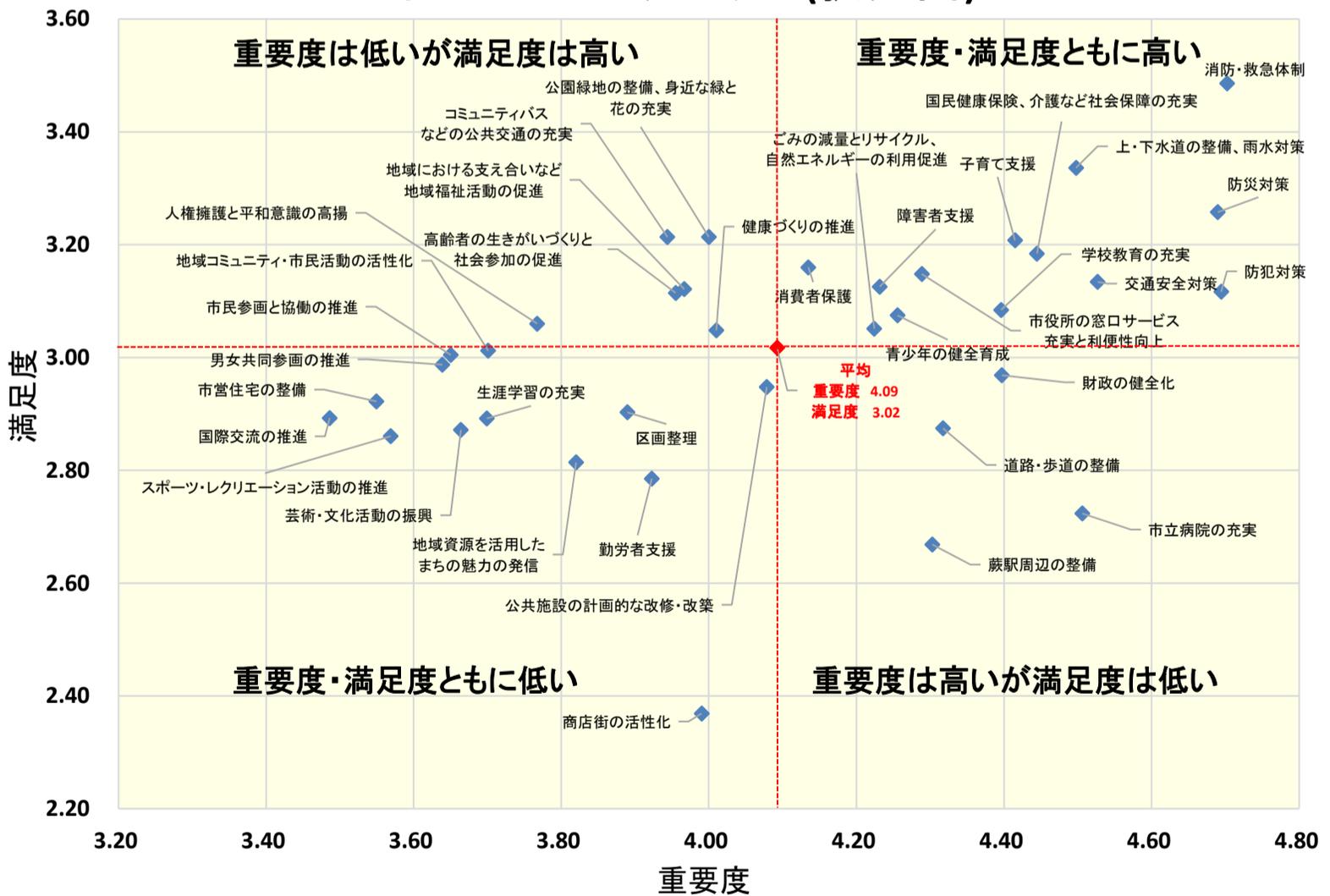
●施策全体の平均が過去3か年平均よりも0.01ポイント増加しています。上昇している施策としては、「防犯対策」、「商店街の活性化」、「上・下水道の整備、雨水対策」と続き、減少している施策としては、「芸術・文化活動の振興」、「生涯学習の充実」、「スポーツ・レクリエーション活動の推進」と続いています。

●満足度は「わからない」という回答が全体的に多く、市民が日常生活の中で関わりを実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が3割を超える「青少年の健全育成」、「男女共同参画の推進」、「市民参画と協働の推進」、「市営住宅の整備」などが挙げられます。

ポジショニングマップ(全体)



ポジショニングマップ(拡大図)

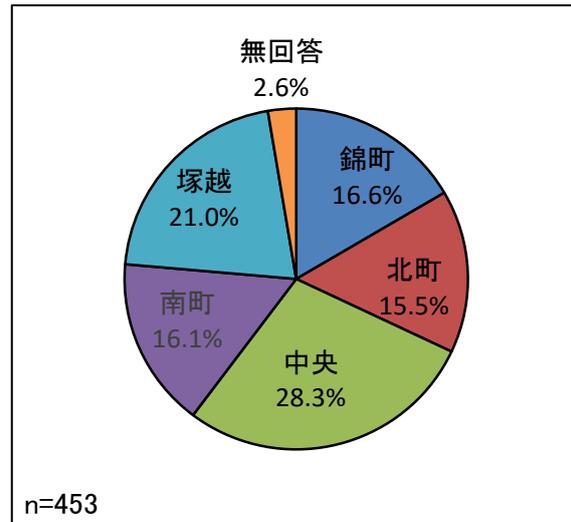


【属 性】

ア. 地区

参考

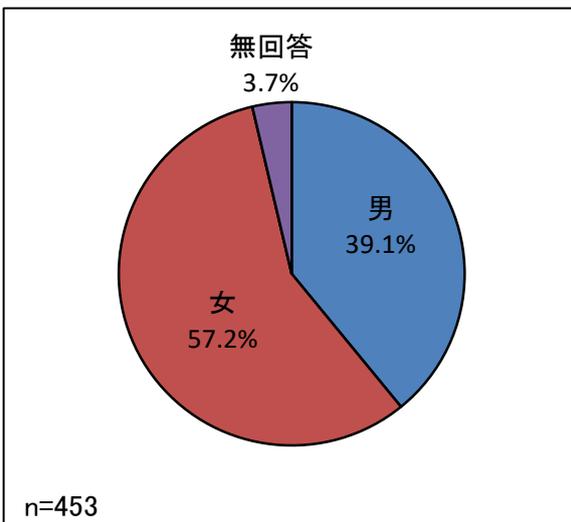
回答対象者:453人	件数	割合	抽出割合
錦町	75	16.6%	15.6%
北町	70	15.5%	15.3%
中央	128	28.3%	29.8%
南町	73	16.1%	16.8%
塚越	95	21.0%	22.4%
無回答	12	2.6%	



イ. 性別

参考

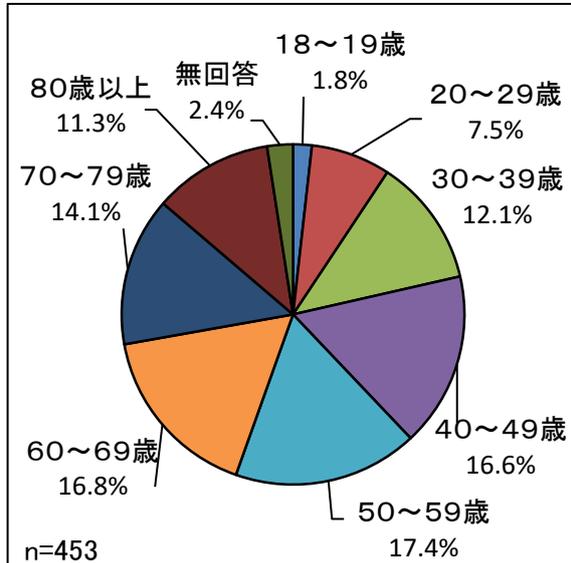
回答対象者:453人	件数	割合	抽出割合
男	177	39.1%	50.6%
女	259	57.2%	49.4%
上記以外の回答	0	0.0%	
無回答	17	3.7%	



ウ. 年齢層

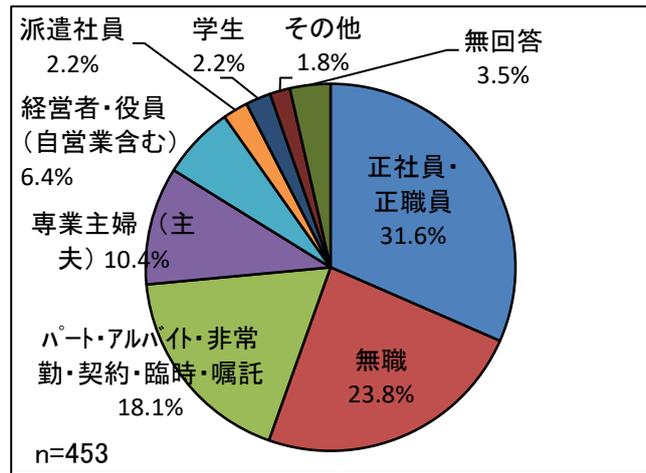
参考

回答対象者:453人	件数	割合	抽出割合
18~19歳	8	1.8%	1.8%
20~29歳	34	7.5%	14.8%
30~39歳	55	12.1%	14.6%
40~49歳	75	16.6%	16.8%
50~59歳	79	17.4%	16.4%
60~69歳	76	16.8%	12.8%
70~79歳	64	14.1%	12.0%
80歳以上	51	11.3%	8.4%
無回答	11	2.4%	



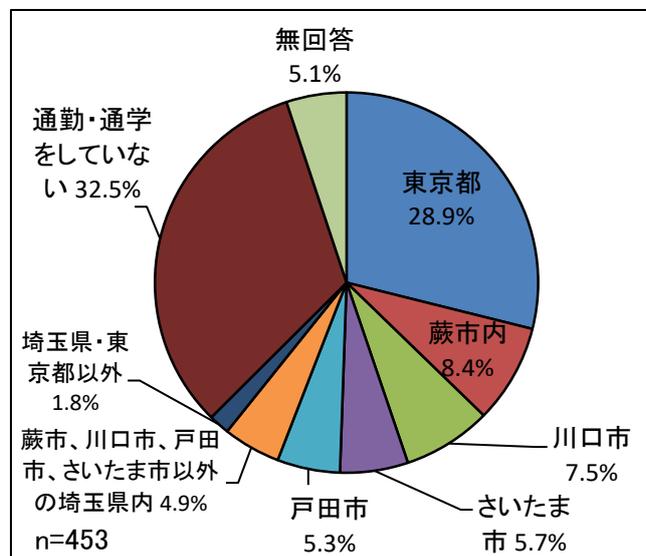
工. 職業

回答対象者:453人	件数	割合	順位
正社員・正職員	143	31.6%	1
無職	108	23.8%	2
パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	82	18.1%	3
専業主婦（主夫）	47	10.4%	4
経営者・役員（自営業含む）	29	6.4%	5
派遣社員	10	2.2%	6
学生	10	2.2%	6
その他	8	1.8%	8
無回答	16	3.5%	



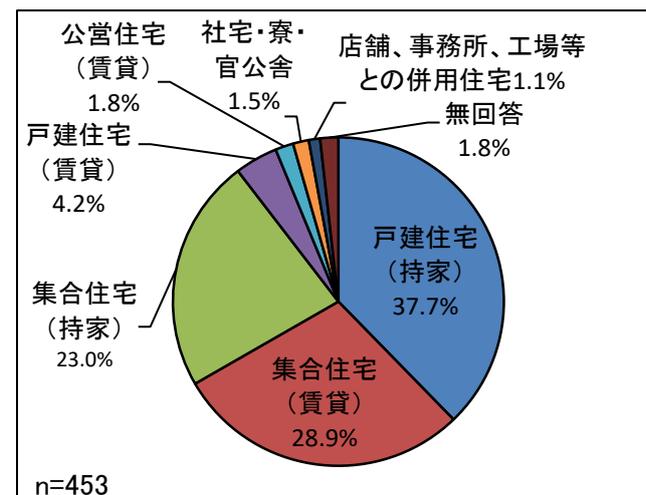
オ. 通勤・通学地

回答対象者:453人	件数	割合	順位
東京都	131	28.9%	1
蕨市内	38	8.4%	2
川口市	34	7.5%	3
さいたま市	26	5.7%	4
戸田市	24	5.3%	5
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	22	4.9%	6
埼玉県・東京都以外	8	1.8%	7
通勤・通学をしていない	147	32.5%	
無回答	23	5.1%	



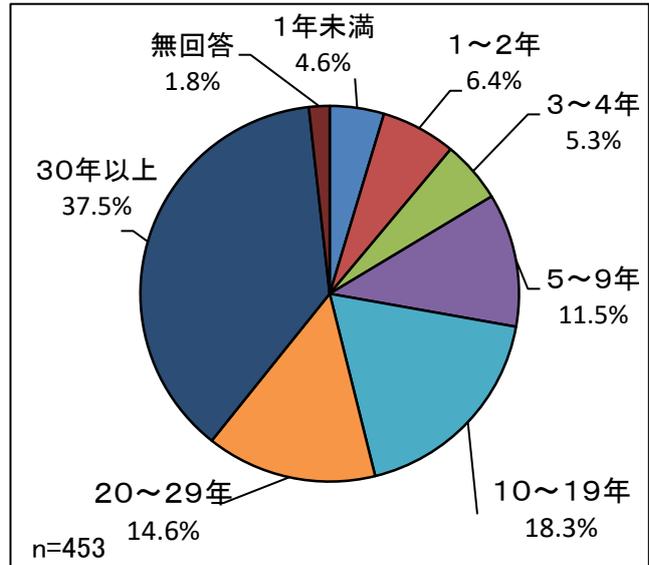
カ. 住宅形態

回答対象者:453人	件数	割合	順位
戸建住宅(持家)	171	37.7%	1
集合住宅(賃貸)	131	28.9%	2
集合住宅(持家)	104	23.0%	3
戸建住宅(賃貸)	19	4.2%	4
公営住宅(賃貸)	8	1.8%	5
社宅・寮・官公舎	7	1.5%	6
店舗、事務所、工場等との併用住宅	5	1.1%	7
無回答	8	1.8%	



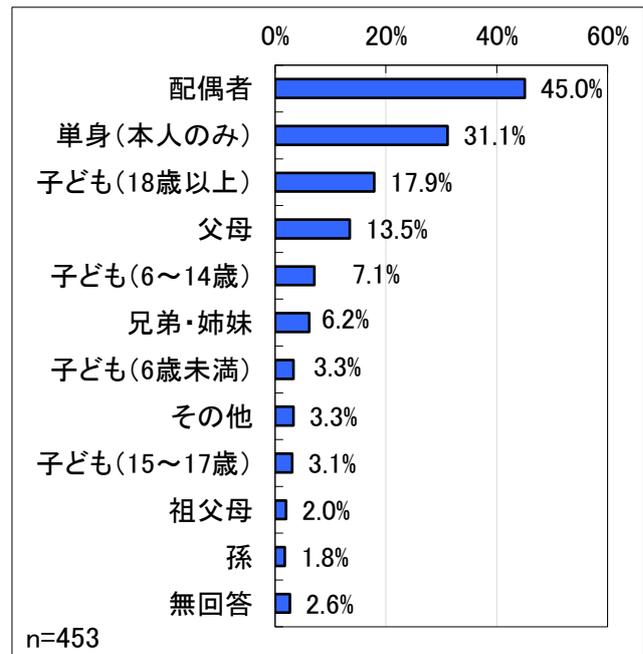
キ. 居住年数

回答対象者:453人	件数	割合	順位
1年未満	21	4.6%	7
1～2年	29	6.4%	5
3～4年	24	5.3%	6
5～9年	52	11.5%	4
10～19年	83	18.3%	2
20～29年	66	14.6%	3
30年以上	170	37.5%	1
無回答	8	1.8%	



ク. 家族構成

回答対象者:453人	件数	割合	順位
配偶者	204	45.0%	1
単身(本人のみ)	141	31.1%	2
子ども(18歳以上)	81	17.9%	3
父母	61	13.5%	4
子ども(6～14歳)	32	7.1%	5
兄弟・姉妹	28	6.2%	6
子ども(6歳未満)	15	3.3%	7
その他	15	3.3%	7
子ども(15～17歳)	14	3.1%	9
祖父母	9	2.0%	10
孫	8	1.8%	11
無回答	12	2.6%	



令和3年度市民意識調査報告書

令和3年11月発行

発行 蕨市
編集 蕨市総務部政策企画室

〒335-8501 蕨市中央5-14-15
電話 048-433-7698
E-Mail seisaku@city.warabi.saitama.jp